

# プラスチック汚染に関する 国際条約に対する考え方

For Rising Tides III

2024年4月



PLASTIC  
FREE  
FOUNDATION



GAME CHANGERS



# 調査の背景

本レポートは、WWFおよびPlastic Free Foundationとのパートナーシップのもと、プラスチック汚染に対処するための世界条約に対する考えについて、イプソスが実施した第3次調査の結果をまとめたものです。



最初の報告書は2022年2月に発表しました。プラスチック汚染と闘うための世界的な条約が必要だと思うかどうかを調査しました。

調査対象となった28カ国全体では、平均88%の人々がプラスチック汚染に関する条約が重要であると回答し、そのうち3分の1（34%）の人々が条約が不可欠であると回答しました。

## 2022年3月

2022年3月、175カ国の政府はプラスチック汚染をなくすための条約に着手することに合意しました。

その中には、プラスチックの持続可能な生産と消費、プラスチック汚染の防止、既存の汚染への対応など、さまざまな目的と義務が含まれる可能性があるので合意しました。



2022年11月に発表された第2次報告書では、条約に盛り込まれる可能性のある具体的なルールについて、調査対象34カ国全体で強い支持が示されました。

その中で、生産者責任の拡大、新製品におけるリサイクル含有量、リサイクルできないプラスチックの禁止が高いレベルで重視されていることが明らかになりました。

## 2024年4月

本レポートについて、2023年後半に32カ国の人々を対象に調査を行いました。過去2回にわたる調査の結果を踏まえ、現在交渉中の具体的なルールや、それらのルールに準拠するアプローチへの賛同に関する洞察を提供しています。

2024年4月、国連加盟国は新たな国際協定の詳細を交渉するために会合を開きます。彼らは2024年末までに最終的な条約文書の交渉を終えることを目指しています。

# ウェーブ1の概要 - 2022年2月レポート



**88%**

の世界市民が、プラスチック汚染と闘うための国際条約が重要だと考えています。



**82%**

が、プラスチック包装をできるだけ使用しない製品を買いたいと回答しました。



**85%**

が、製造業者と小売業者はプラスチック包装の削減、再利用、リサイクルに責任を持つべきだという意見に同意しています。



**75%**

の世界市民が、使い捨てプラスチックは早急に禁止されるべきだという意見を持っています。

# ウェーブ2の概要 - 2022年11月レポート



**70%**

の世界市民が、プラスチック汚染をなくすために政府が世界的なルールを作ることを支持しています。



**50%**

の世界市民が、こうしたルールに従わない場合には処罰を与えるべきだと考えています。



**75%**

が、不要な使い捨てプラスチックを禁止する世界的なルールを設けることが重要だと考えています。



**77%**

が、リサイクルしにくいタイプのプラスチックを禁止するルールが重要だと考えています。



**78%**

が、製造業者や小売業者が包装の削減、再利用、リサイクルに責任を持つような規則が重要だと考えています。



**76%**

が、すべての新しいプラスチック製品に再生プラスチックを使用することを義務づけることが重要だと考えています。



**77%**

が、プラスチック製品の再利用、リサイクル、廃棄のための分別方法を明確にするため、ラベル表示を義務付けることが重要だと考えています。

# 要約：今回の調査における世界各国の平均値

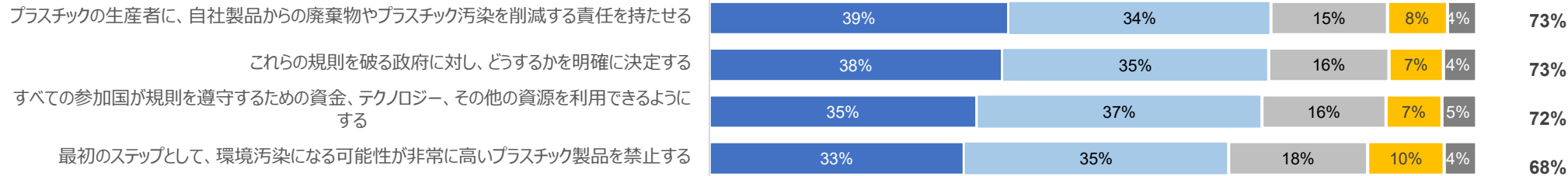
国際連合は2022年、プラスチック汚染を食い止めた国際条約を策定することで合意しました。

以下の規則に対し、あなたがどの程度同意するか、または同意しないかお答えください。

大いに同意する、  
同意する 合計

## プラスチック汚染に関する 国際条約への同意

- 大いに同意する
- 同意する
- どちらともいえない
- 同意しない/まったく同意しない
- わからない

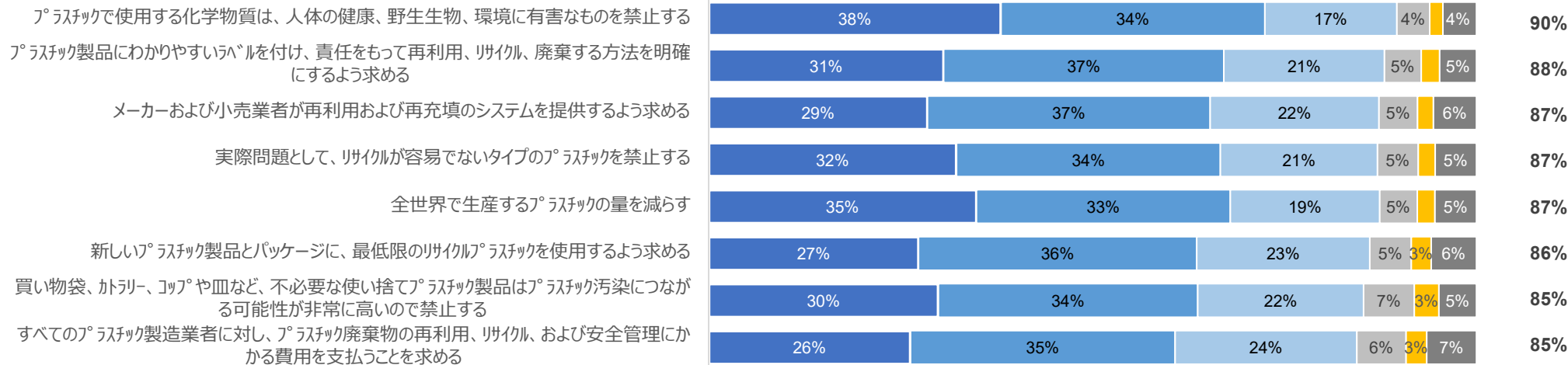


## 以下の目的にグローバルな規則を持つことは、どの程度重要、または重要でないと思いますか？

必須、非常に/  
ある程度重要 合計

## プラスチック汚染に関する 条約に盛り込むべき世界的 ルールについての見解

- 必須
- 非常に重要
- ある程度重要
- あまり重要ではない
- まったく重要ではない
- わからない



# プラスチック汚染に関する国際条約に対する 世界の考え方

# 1

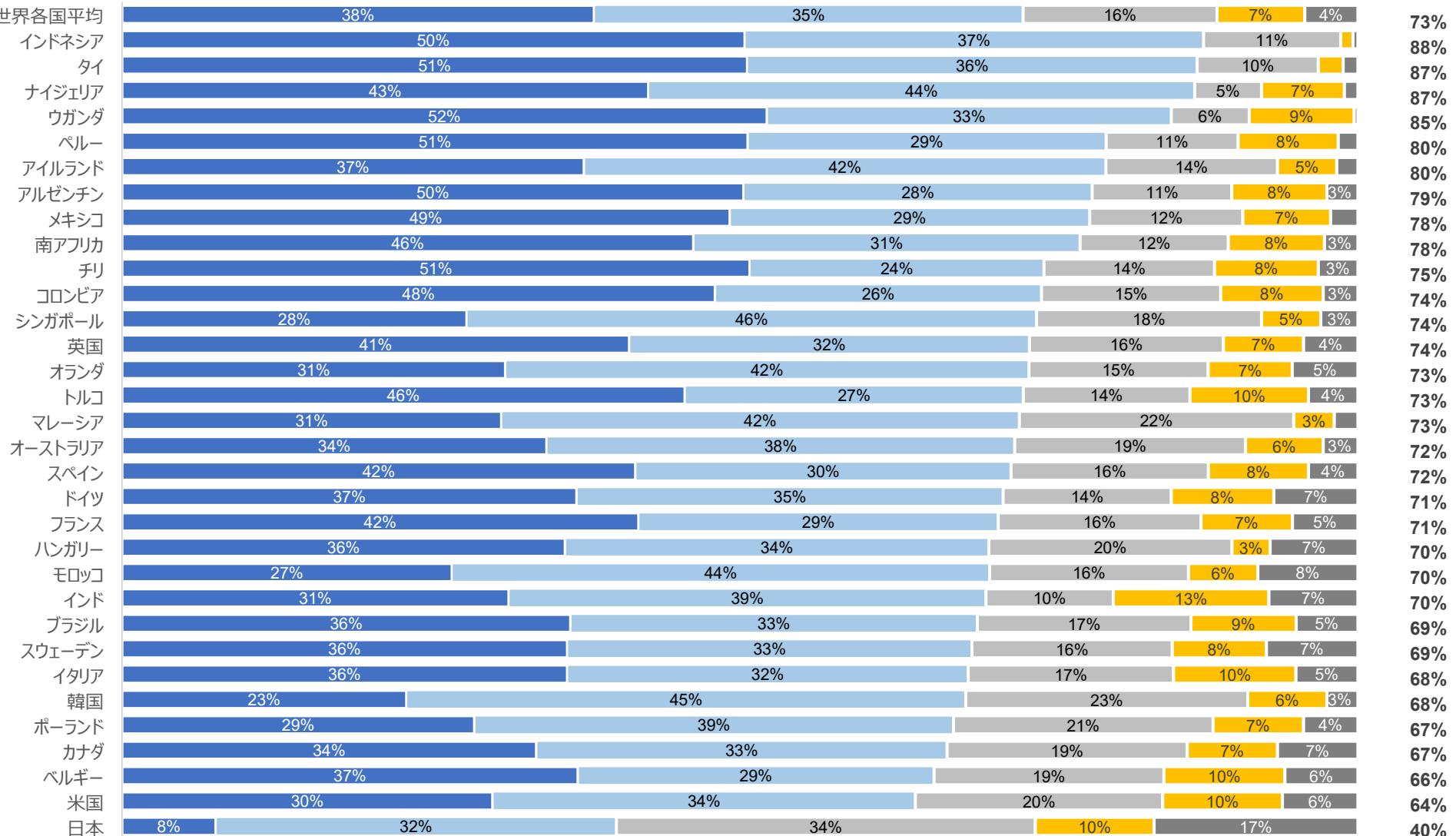
国際連合は2022年、プラスチック汚染を食い止めた国際条約を策定することで合意しました。  
以下の規則に対し、あなたがどの程度同意するか、または同意しないかお答えください。

## これらの規則を破る政府に対し、どうするかを明確に決定する

大いに同意する、  
同意する 合計

## 国別比較

調査対象国の世界平均  
73%の人々が、国際条約  
は規則を破る政府に対し、  
どうするかを明確に決定す  
べきだという意見に賛成  
(大いに同意する+同意  
する) しています。



- 大いに同意する
- 同意する
- どちらともいえない
- 同意しない/まったく同意しない
- わからない

出典：イプソスグローバルバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。  
ベネズエラ、ブラジル、チリ、コロンビア、インドネシア、アイルランド、マレーシア、メキシコ、モロッコ、ナイジェリア、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコ、ウガンダのオンラインサンプルは、一般人口に比べて、より都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。世界各国平均は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映しています。各国・各市場の人口規模に合わせたものではなく、総合的な結果を示唆するものでもない。

注：3%未満のデータレベルは表示されていない



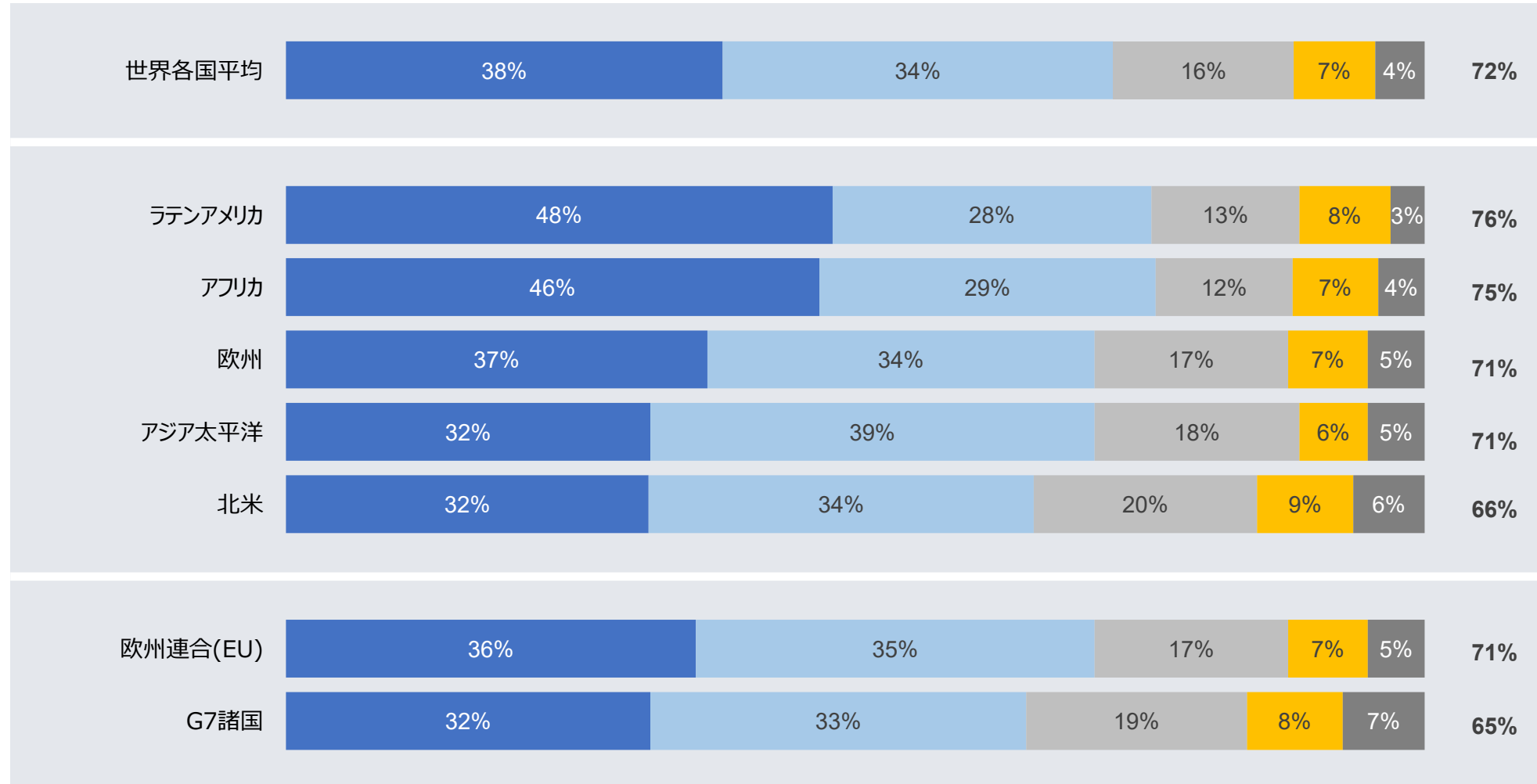
国際連合は2022年、プラスチック汚染を食い止めた国際条約を策定することで合意しました。  
以下の規則に対し、あなたがどの程度同意するか、または同意しないかお答えください。

## これらの規則を破る政府に対し、どうするかを明確に決定する

大いに同意する、  
同意する 合計

## 地域比較

規則を破る政府に対し、  
どうするかを明確に決定する  
ことへの支持は、中東・ア  
フリカとラテンアメリカで最も高  
い結果となっています。



- 大いに同意する
- 同意する
- どちらともいえない
- 同意しない/まったく同意しない
- わからない

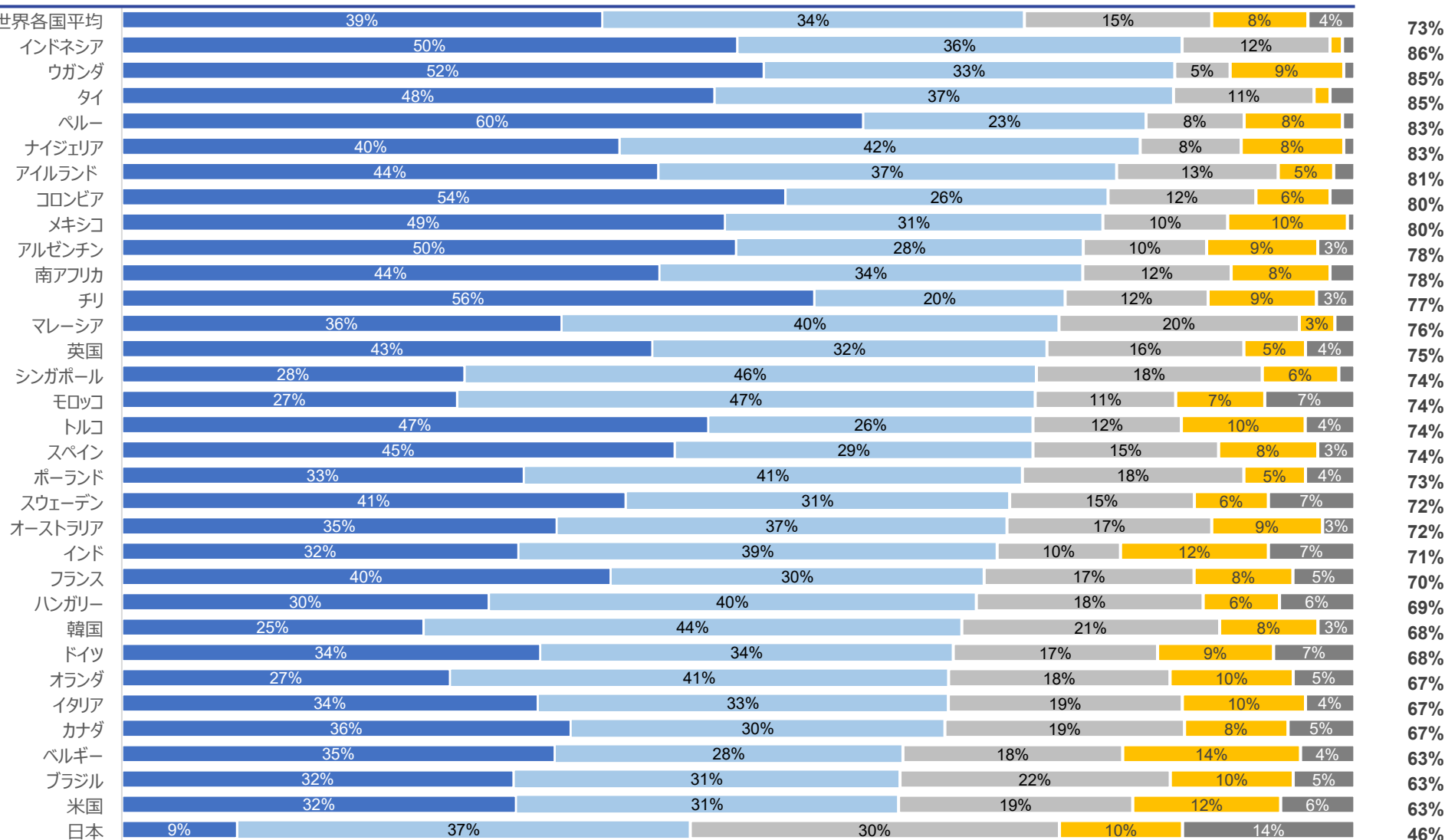


国際連合は2022年、プラスチック汚染を食い止めた国際条約を策定することで合意しました。  
以下の規則に対し、あなたがどの程度同意するか、または同意しないかお答えください。

## プラスチックの生産者に、自社製品からの廃棄物やプラスチック汚染を削減する責任を持たせる

大いに同意する、  
同意する 合計

### 国別比較



世界平均で73%の人々が、プラスチック製造業者に自社製品からの廃棄物やプラスチック汚染を削減する責任を持たせる世界的な条約が必要だと考えています（大いに同意する+同意する）。

- 大いに同意する
- 同意する
- どちらともいえない
- 同意しない/まったく同意しない
- わからない

出典：イプソスグローバルバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。  
ベース：ブラジル、チリ、コロンビア、インドネシア、アイルランド、マレーシア、メキシコ、モロッコ、ナイジェリア、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコ、ウガンダのオンラインサンプルは、一般人口に比べて、より都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。世界各国平均は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映しています。各国・各市場の人口規模に合わせたものではなく、総合的な結果を示唆するものでもない。

注：3%未満のデータレベルは表示されていない



国際連合は2022年、プラスチック汚染を食い止めた国際条約を策定することで合意しました。

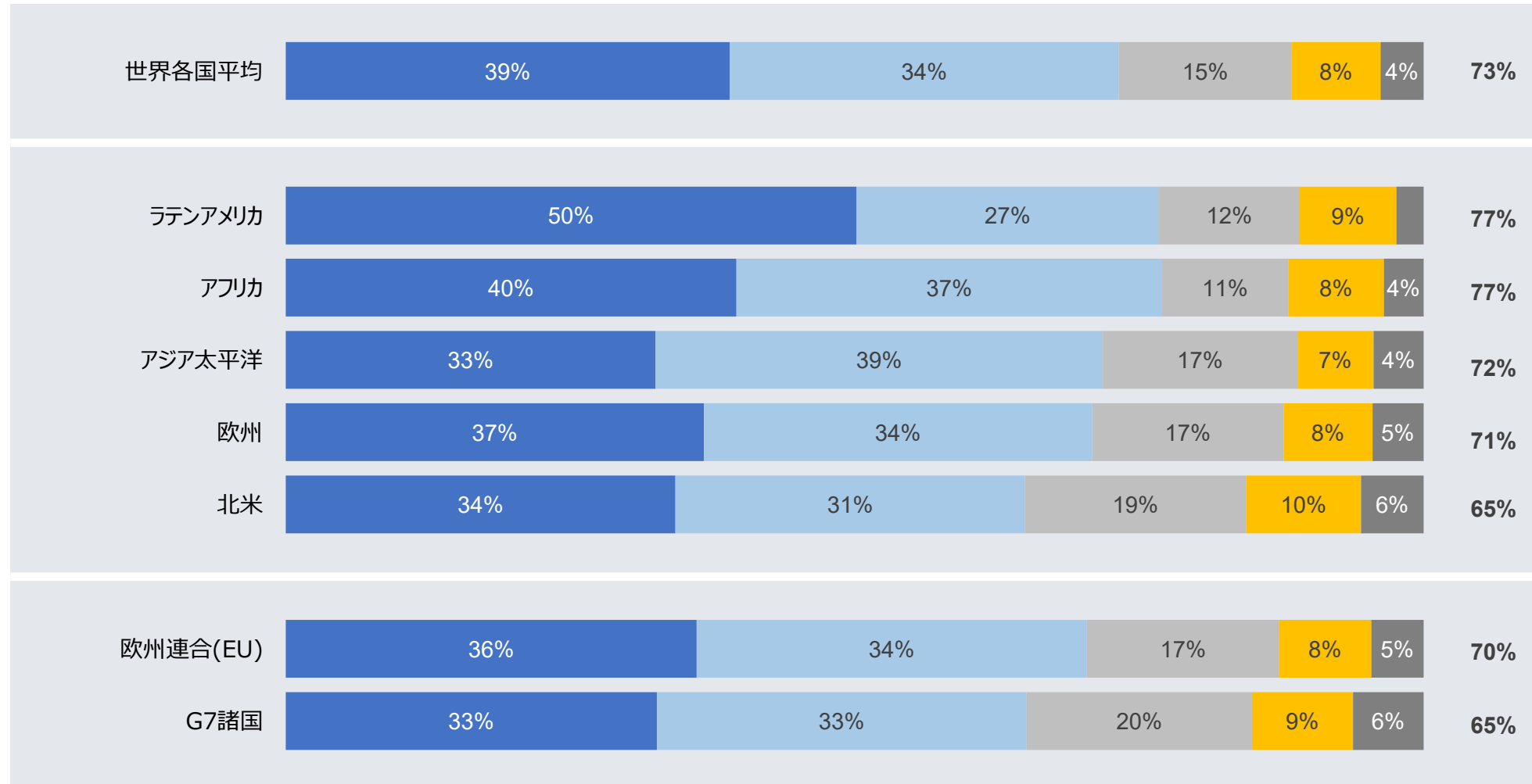
以下の規則に対し、あなたがどの程度同意するか、または同意しないかお答えください。

## プラスチックの生産者に、自社製品からの廃棄物やプラスチック汚染を削減する責任を持たせる

大いに同意する、  
同意する 合計

### 地域比較

プラスチック製造業者に、  
自社製品からの廃棄物や  
プラスチック汚染を削減す  
る責任を持たせることへの  
支持は、ラテンアメリカと中  
東・アフリカで最も高い結  
果となっています。



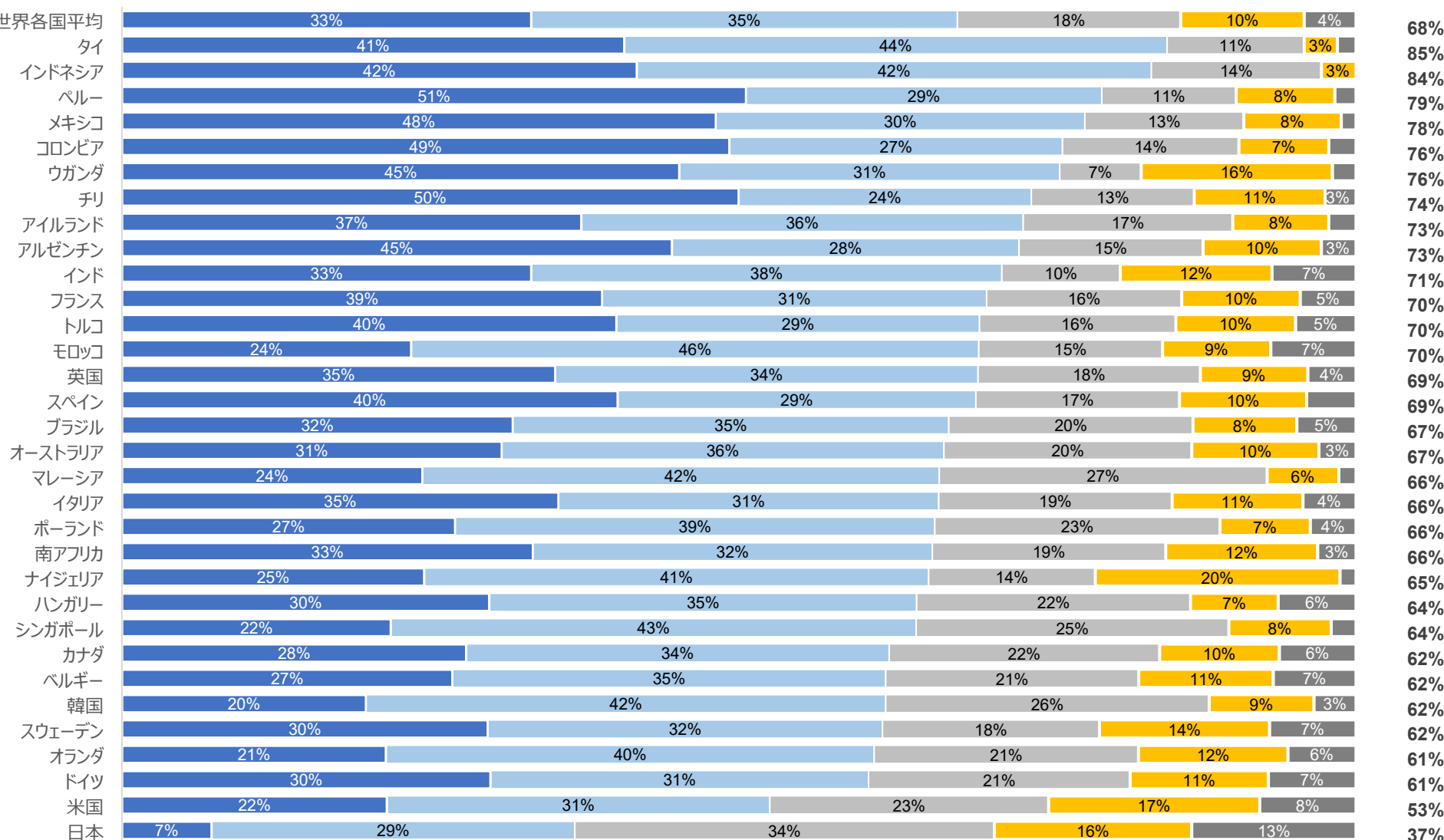
- 大いに同意する
- 同意する
- どちらともいえない
- 同意しない/まったく同意しない
- わからない

国際連合は2022年、プラスチック汚染を食い止めた国際条約を策定することで合意しました。  
以下の規則に対し、あなたがどの程度同意するか、または同意しないかお答えください。

## 最初のステップとして、環境汚染になる可能性が非常に高いプラスチック製品を禁止する

大いに同意する、  
同意する 合計

### 国別比較



調査対象国の世界平均  
68%の人々が、世界的な  
条約は最初のステップとし  
て、環境汚染になる可能  
性が非常に高いプラスチッ  
ク製品を禁止することから  
始めるべきだと考えていま  
す（大いに同意する+同意  
する）。

- 大いに同意する
- 同意する
- どちらともいえない
- 同意しない/まったく同意しない
- わからない

出典：イプソスグローバルバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。  
ペース：ブラジル、チリ、コロンビア、インドネシア、アイルランド、マレーシア、メキシコ、モロッコ、ナイジェリア、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコ、ウガンダのオンラインサンプルは、一般人口に比べて、より都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。世界各国平均は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映しています。各国・各市場の人口規模に合わせたものではなく、総合的な結果を示唆するものでもない。

注：3%未満のデータレベルは表示されていない



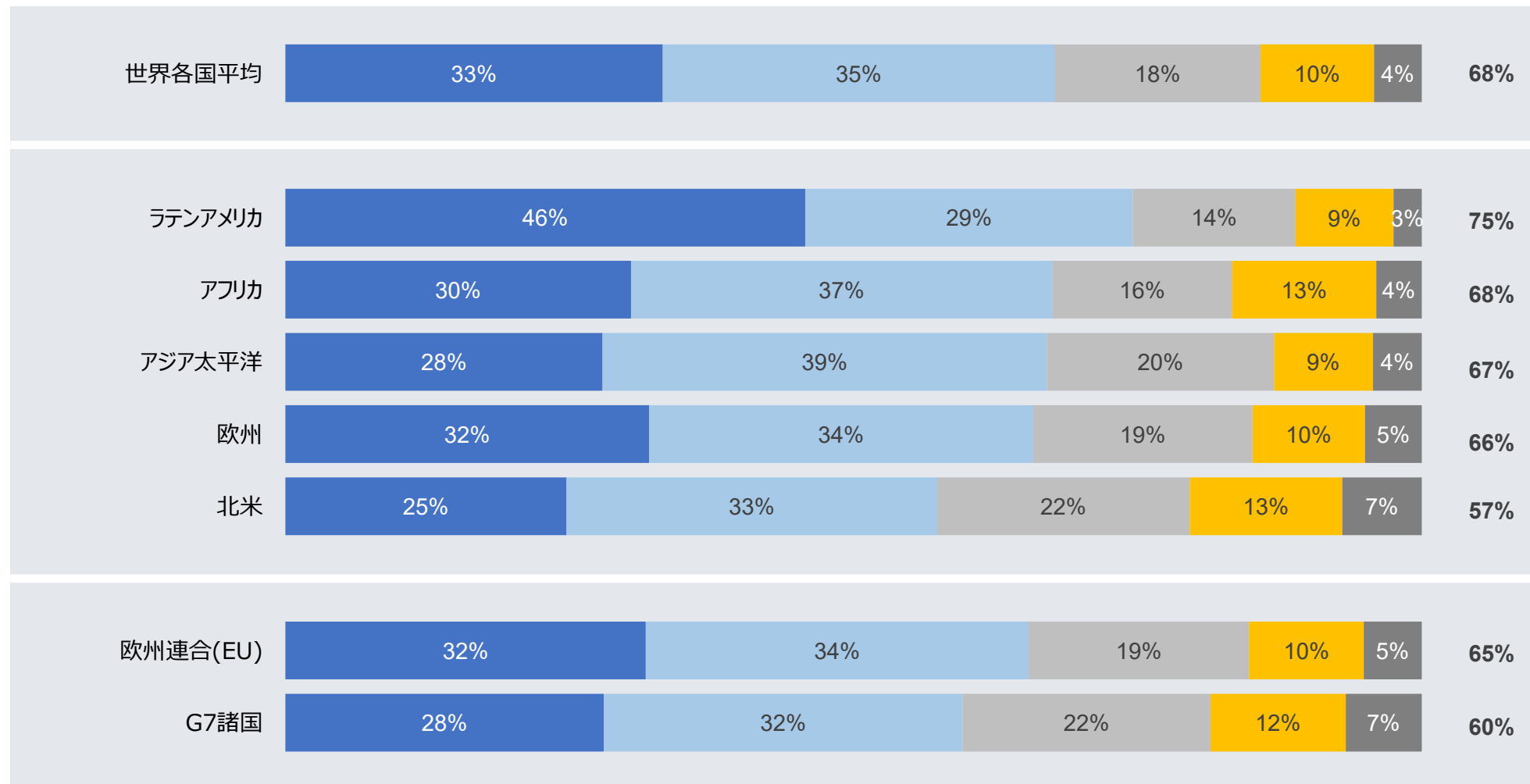
国際連合は2022年、プラスチック汚染を食い止めた国際条約を策定することで合意しました。  
以下の規則に対し、あなたがどの程度同意するか、または同意しないかお答えください。

## 最初のステップとして、環境汚染になる可能性が非常に高いプラスチック製品を禁止する

大いに同意する、  
同意する 合計

### 地域比較

環境汚染になる可能性が非常に高いプラスチック製品を禁止することから始めることへの支持は、ラテンアメリカと中東・アフリカで最も高い結果となっています。



- 大いに同意する
- 同意する
- どちらともいえない
- 同意しない/まったく同意しない
- わからない

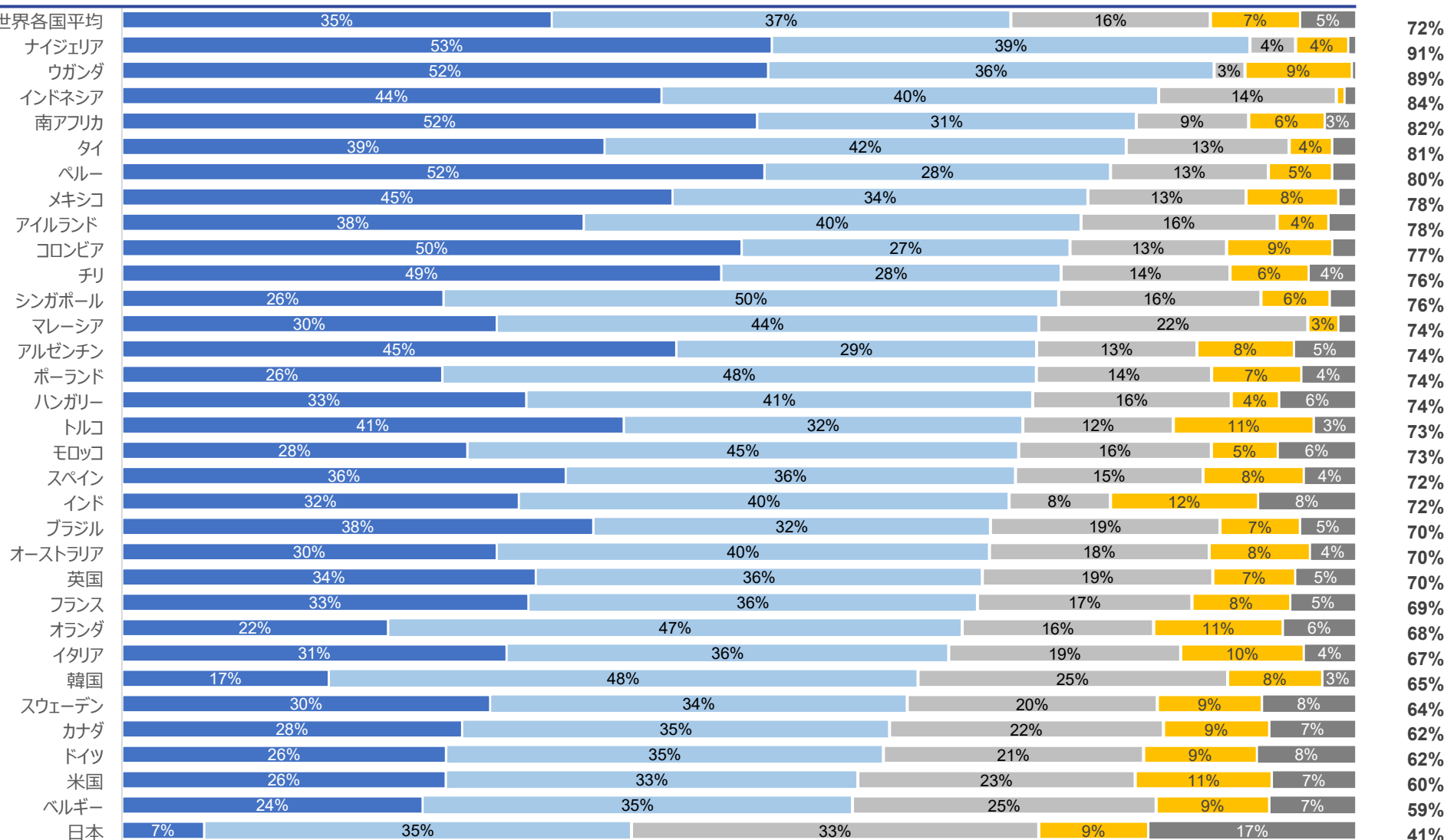
国際連合は2022年、プラスチック汚染を食い止めた国際条約を策定することで合意しました。  
以下の規則に対し、あなたがどの程度同意するか、または同意しないかお答えください。

## すべての参加国が、規則を遵守するための資金、テクノロジー、その他の資源を利用できるようにする

大いに同意する、  
同意する 合計

### 国別比較

世界平均で72%の人々が、参加国が規則を遵守するための資金、テクノロジー、その他の資源を利用できるようにすることに同意しています（大いに同意する+同意する）。



- 大いに同意する
- 同意する
- どちらともいえない
- 同意しない/まったく同意しない
- わからない

出典：イプソスグローバルバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。  
ペーヌ：ブラジル、チリ、コロンビア、インドネシア、アイルランド、マレーシア、メキシコ、モロッコ、ナイジェリア、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコ、ウガンダのオンラインサンプルは、一般人口に比べて、より都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。世界各国平均は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映しています。各国・各市場の人口規模に合わせたものではなく、総合的な結果を示唆するものでもない。

注：3%未満のデータレベルは表示されていない



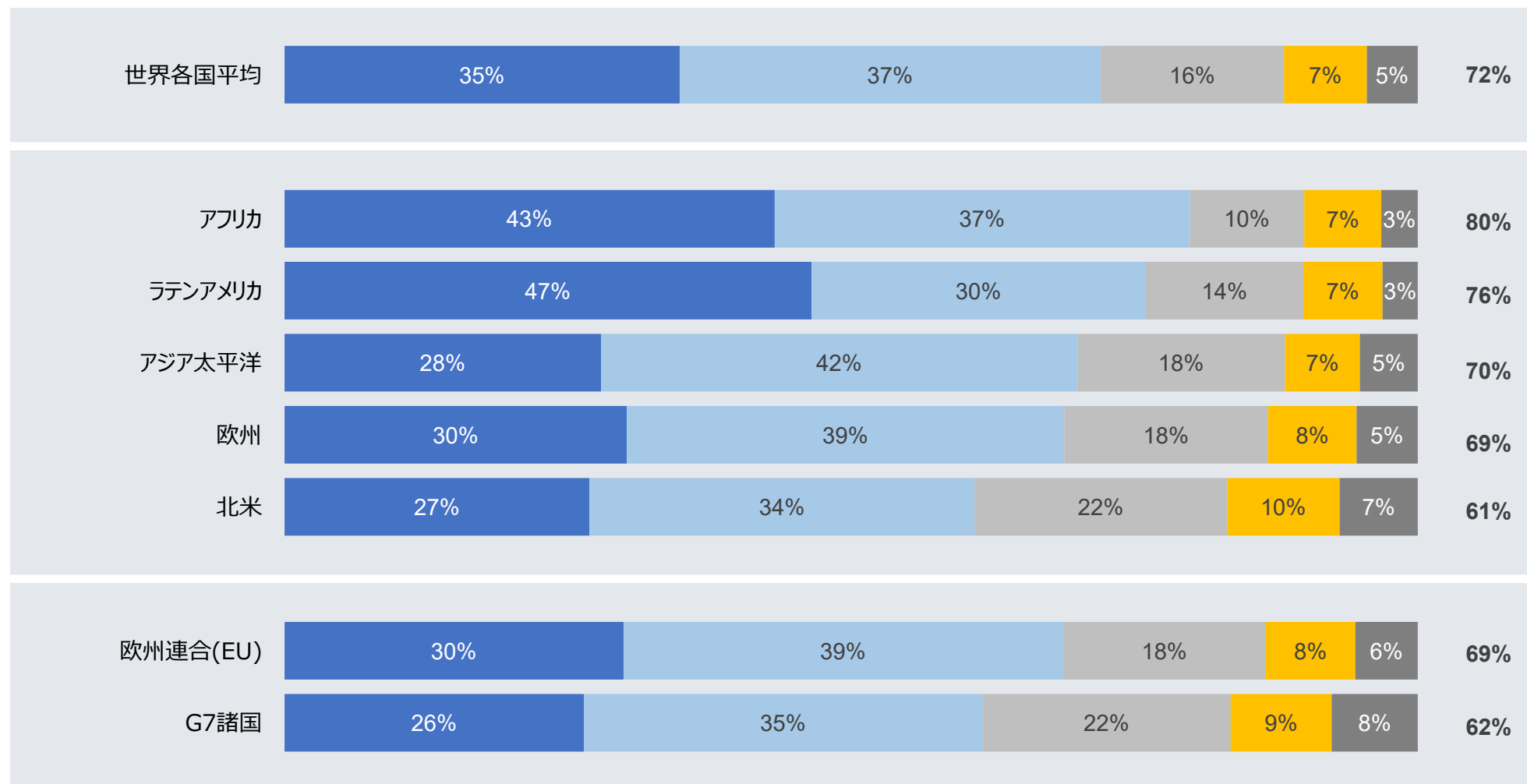
国際連合は2022年、プラスチック汚染を食い止めた国際条約を策定することで合意しました。  
以下の規則に対し、あなたがどの程度同意するか、または同意しないかお答えください。

## すべての参加国が、規則を遵守するための資金、テクノロジー、その他の資源を利用できるようにする

大いに同意する、  
同意する 合計

### 地域比較

すべての参加国が規則を遵守するための資金、テクノロジー、その他の資源を利用できるようにするための支援は、中東・アフリカとラテンアメリカで最も高い結果となっています。



- 大いに同意する
- 同意する
- どちらともいえない
- 同意しない/まったく同意しない
- わからない

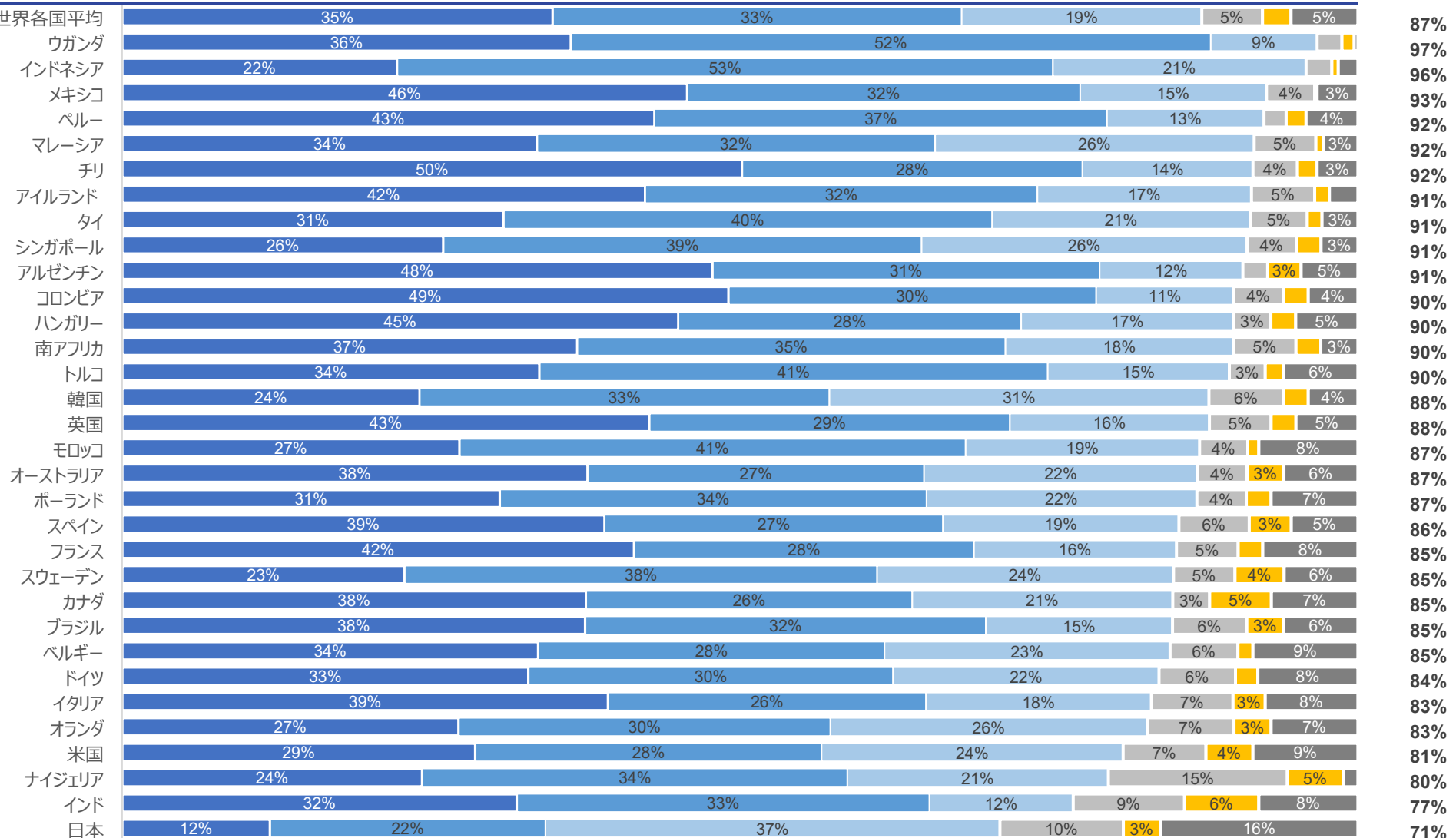
プラスチック汚染に関する国際条約に  
含まれる可能性のある

# グローバルルールに対する 見解

# 2

国際連合は2022年、プラスチック汚染を食い止めた国際条約を策定することで合意しました。  
以下の目的にグローバルな規則を持つことは、どの程度重要、または重要でないと思いますか？

## 全世界で生産するプラスチックの量を減らす



必須、非常に／ある程度重要 合計

## 国別比較

世界平均87%の人々が、全世界で生産するプラスチックの量を減らすことは、世界的なルールとして重要である（必須+非常に重要+ある程度重要）と考えています。

- 必須
- 非常に重要
- ある程度重要
- あまり重要ではない
- まったく重要ではない
- わからない

出典：イプソスグローバルバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。  
ベース：ブラジル、チリ、コロンビア、インドネシア、アイルランド、マレーシア、メキシコ、モロッコ、ナイジェリア、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコ、ウガンダのオンラインサンプルは、一般人口に比べて、より都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。世界各国平均は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映しています。各国・各市場の人口規模に合わせたものではなく、総合的な結果を示唆するものでもない。

注：3%未満のデータレベルは表示されていない





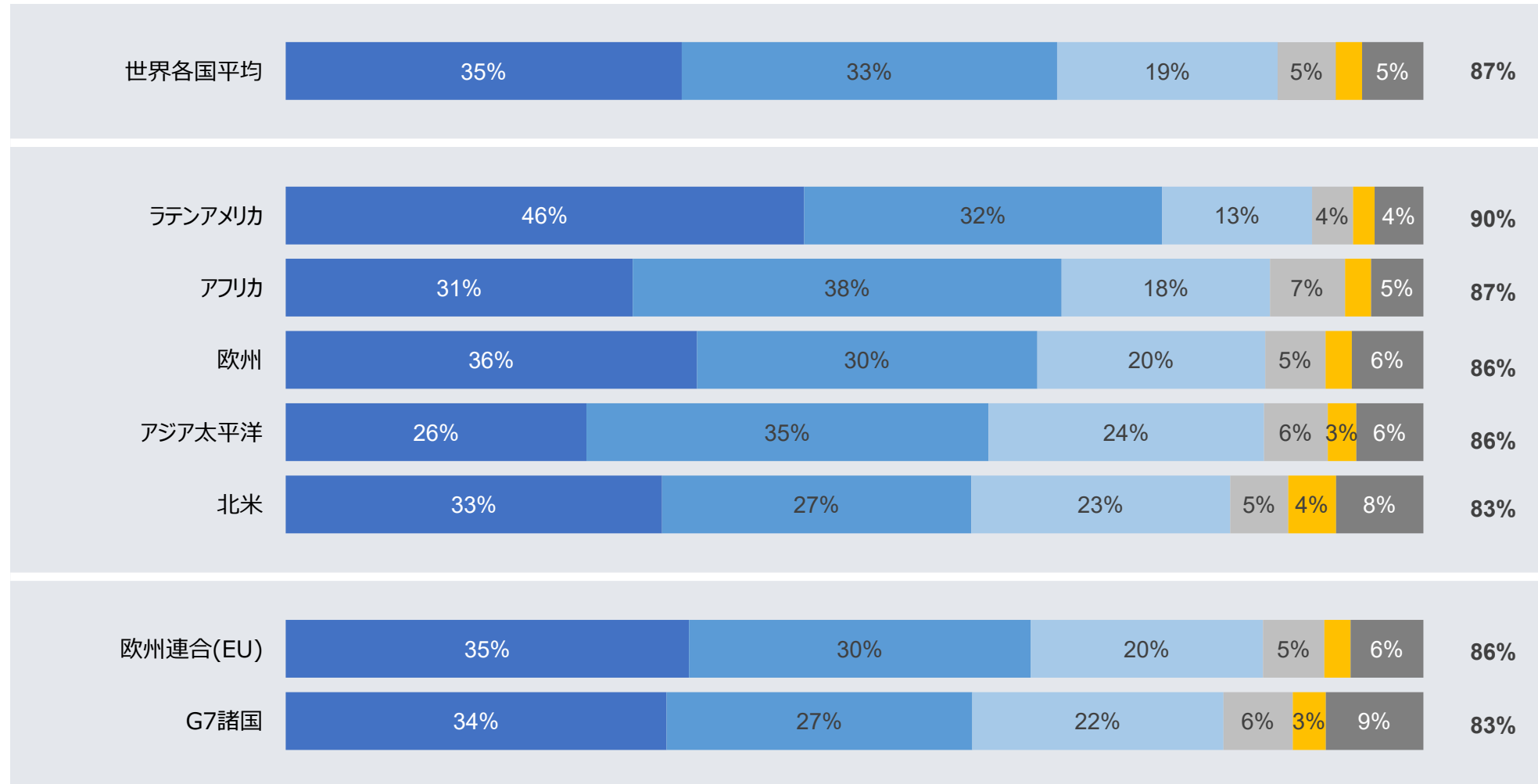
国際連合は2022年、プラスチック汚染を食い止めた国際条約を策定することで合意しました。  
以下の目的にグローバルな規則を持つことは、どの程度重要、または重要でないと思いますか？

## 全世界で生産するプラスチックの量を減らす

必須、非常に／  
ある程度重要 合計

### 地域比較

ラテンアメリカは、全世界で生産するプラスチックの量を減らすグローバルルールを最も重要視しており（90%が重要だと考えている）、次いで中東・アフリカとなっています。



- 必須
- 非常に重要
- ある程度重要
- あまり重要ではない
- まったく重要ではない
- わからない

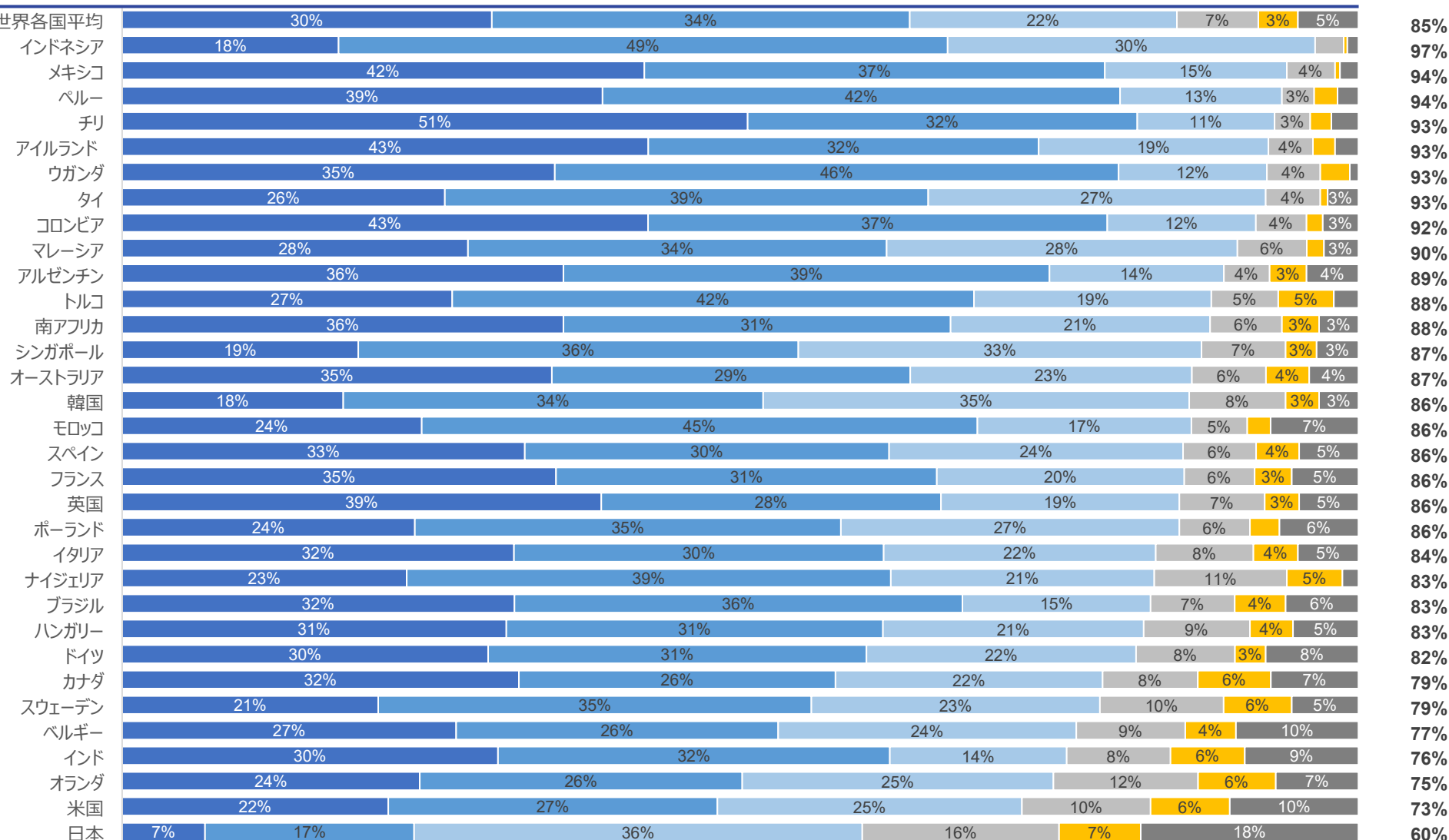
国際連合は2022年、プラスチック汚染を食い止めた国際条約を策定することで合意しました。  
以下の目的にグローバルな規則を持つことは、どの程度重要、または重要でないと思いますか？

## 買い物袋、カトラリー、コップや皿など、 unnecessary な使い捨てプラスチック製品はプラスチック汚染につながる可能性が非常に高いので禁止する

必須、非常に／ある程度重要 合計

### 国別比較

世界平均85%の人々が、 unnecessary な使い捨てプラスチック製品を禁止する世界的なルールは重要である（必須+非常に重要+ある程度重要）と考えています。



出典：イプソスグローバルバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。  
ペーシ：ブラジル、チリ、コロンビア、インドネシア、アイルランド、マレーシア、メキシコ、モロッコ、ナイジェリア、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコ、ウガンダのオンラインサンプルは、一般人口に比べて、より都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。世界各国平均は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映しています。各国・各市場の人口規模に合わせたものではなく、総合的な結果を示唆するものでもない。

注：3%未満のデータレベルは表示されていない

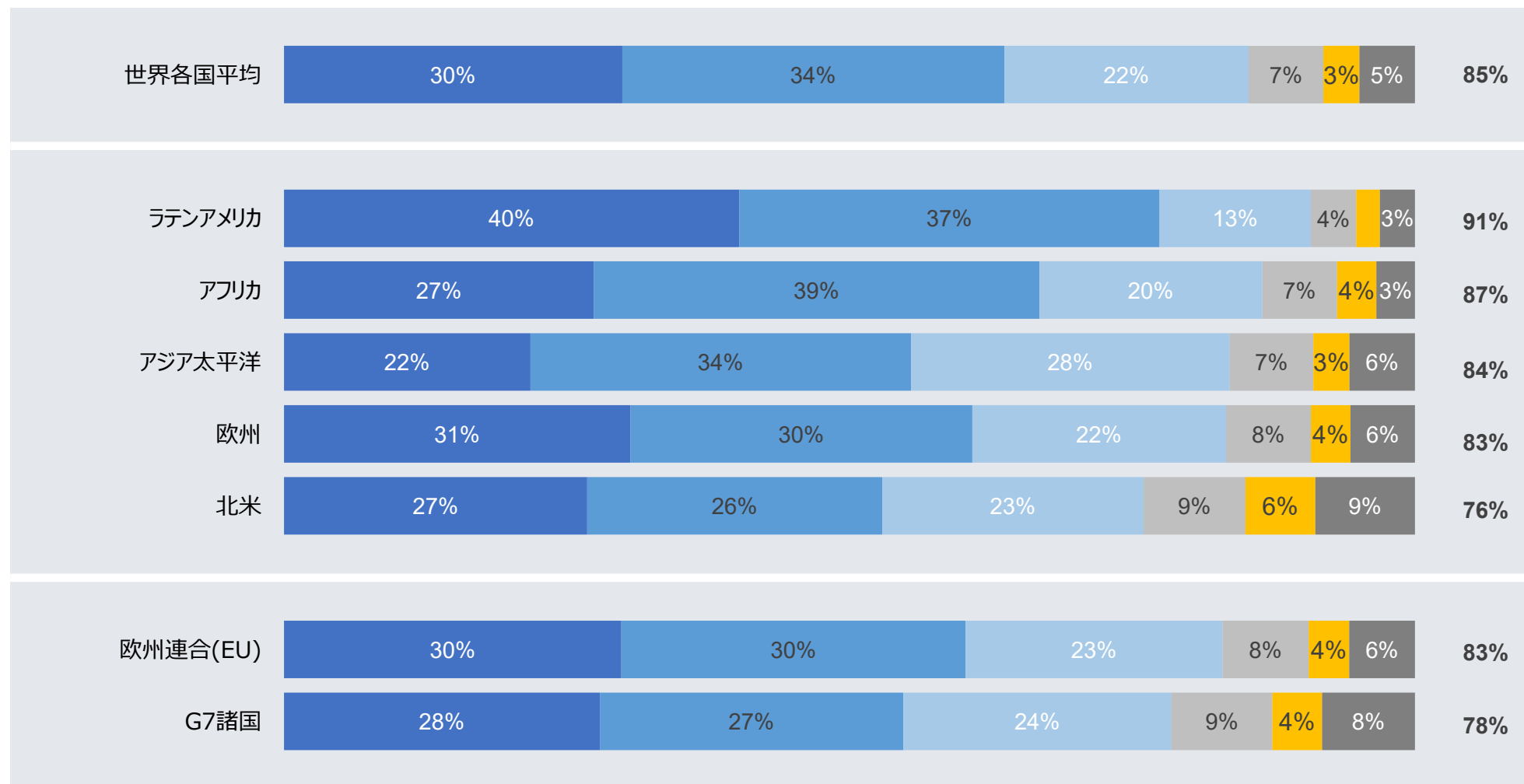
国際連合は2022年、プラスチック汚染を食い止めた国際条約を策定することで合意しました。  
以下の目的にグローバルな規則を持つことは、どの程度重要、または重要でないと思いますか？

## 買い物袋、カトラリー、コップや皿など、不必要な使い捨てプラスチック製品はプラスチック汚染につながる可能性が非常に高いので禁止する

必須、非常に/  
ある程度重要 合計

### 地域比較

不必要な使い捨てプラスチック製品を禁止する世界的ルールを最も重要視しているのはラテンアメリカで（91%が重要だと考えている）、次いで中東・アフリカとなっています。



- 必須
- 非常に重要
- ある程度重要
- あまり重要ではない
- まったく重要ではない
- わからない

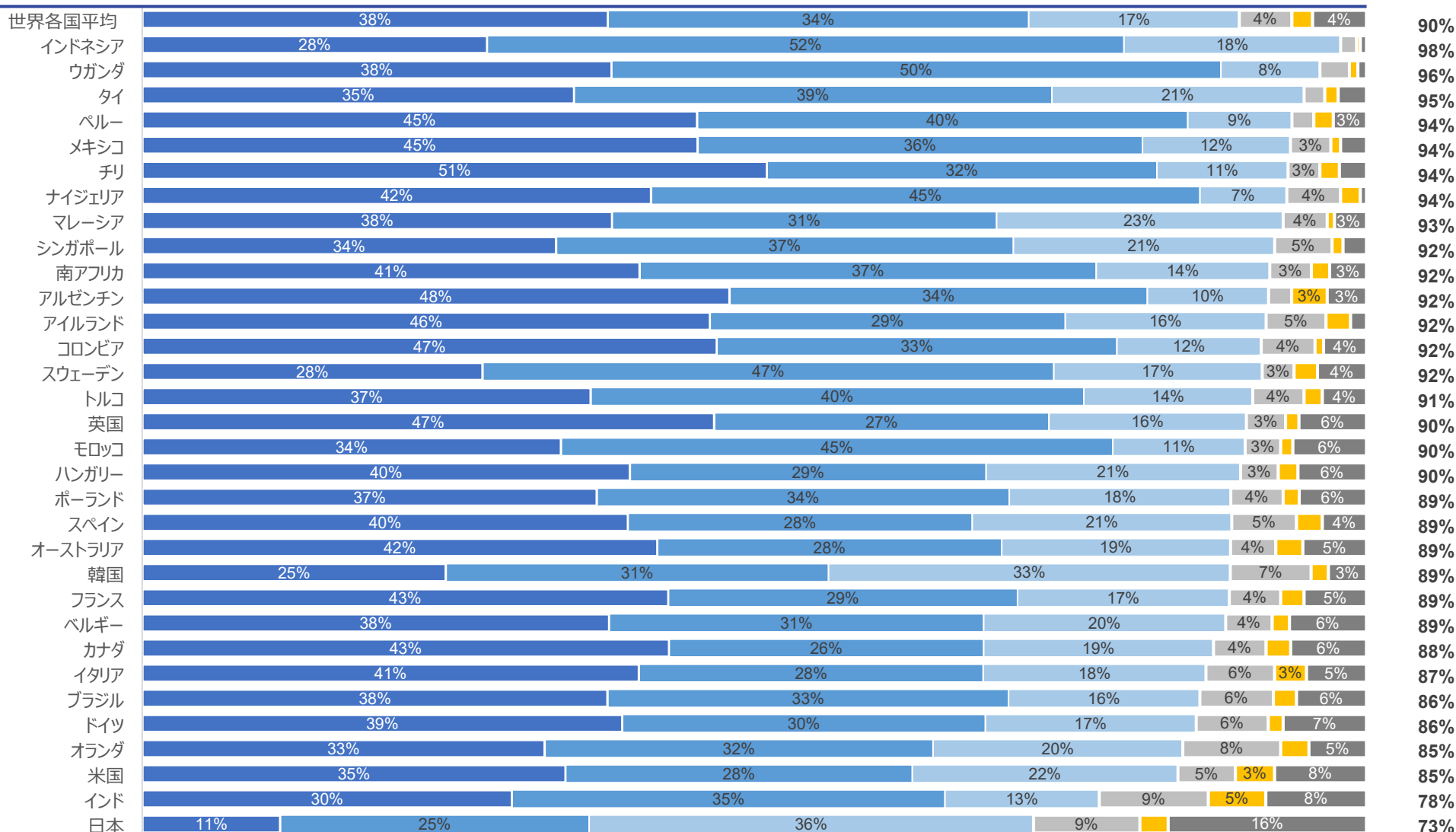
国際連合は2022年、プラスチック汚染を食い止めた国際条約を策定することで合意しました。  
以下の目的にグローバルな規則を持つことは、どの程度重要、または重要でないと思いますか？

## プラスチックで使用する化学物質は、人体の健康、野生生物、環境に有害なものを禁止する

必須、非常に/  
ある程度重要 合計

### 国別比較

世界平均で90%の人々が、プラスチックに使用される人体や環境に有害な化学物質を禁止するための世界的なルールは重要である（必須+非常に重要+ある程度重要）と考えられています。



出典：イプソスグローバルバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。  
ペーヌ：ブラジル、チリ、コロンビア、インドネシア、アイルランド、マレーシア、メキシコ、モロッコ、ナイジェリア、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコ、ウガンダのオンラインサンプルは、一般人口に比べて、より都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。世界各国平均は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映しています。各国・各市場の人口規模に合わせたものではなく、総合的な結果を示唆するものでもない。

注：3%未満のデータレベルは表示されていない

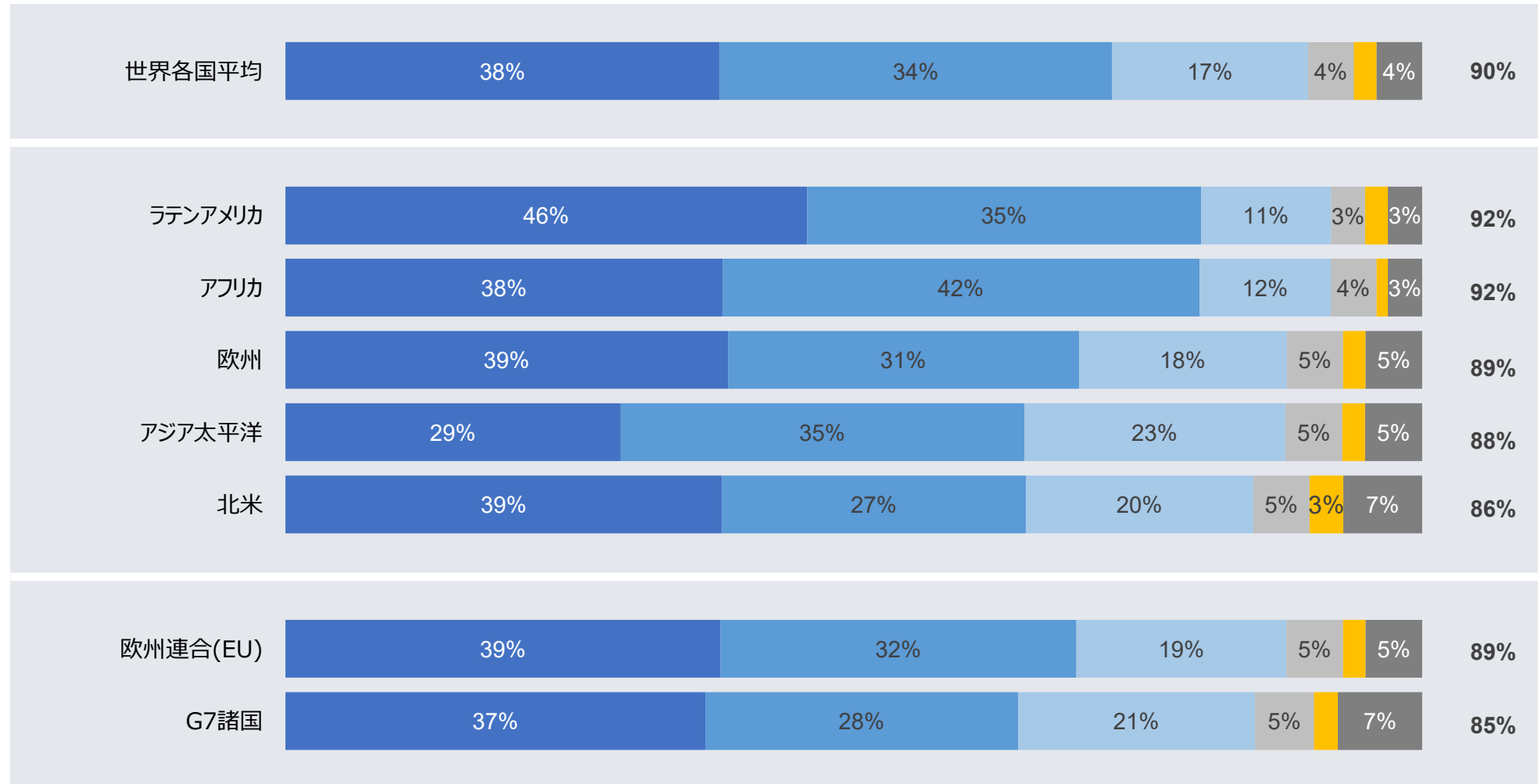
国際連合は2022年、プラスチック汚染を食い止めた国際条約を策定することで合意しました。  
以下の目的にグローバルな規則を持つことは、どの程度重要、または重要でないと思いますか？

## プラスチックで使用する化学物質は、人体の健康、野生生物、環境に有害なものを禁止する

必須、非常に/  
ある程度重要 合計

### 地域比較

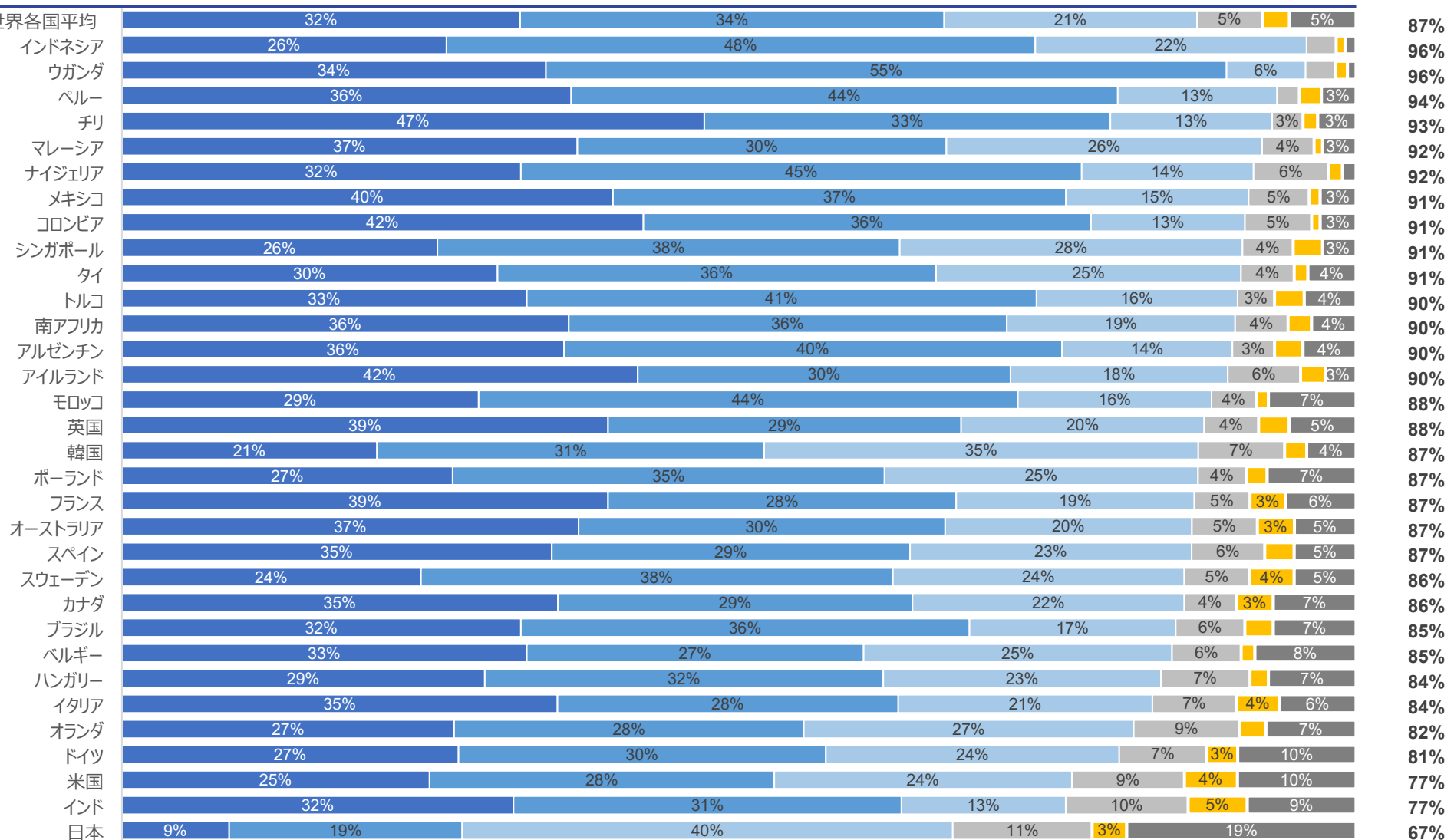
ラテンアメリカと中東・アフリカは、プラスチックに使用される化学物質のうち、人体の健康や環境に有害なものを禁止する世界的なルールを最も重要視しており（92%が重要だと考えている）、次いで欧州（89%）となっています。



- 必須
- 非常に重要
- ある程度重要
- あまり重要ではない
- まったく重要ではない
- わからない

国際連合は2022年、プラスチック汚染を食い止めた国際条約を策定することで合意しました。  
以下の目的にグローバルな規則を持つことは、どの程度重要、または重要でないと思いますか？

## 実際問題として、リサイクルが容易でないタイプのプラスチックを禁止する



## 国別比較

世界平均87%の人々が、リサイクルが容易でないタイプのプラスチックを禁止することが、世界的なルールとして重要であると考えています（必須+非常に重要+ある程度重要）。

- 必須
- 非常に重要
- ある程度重要
- あまり重要ではない
- まったく重要ではない
- わからない

出典：イプソスグローバルバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。  
 ペース：ブラジル、チリ、コロンビア、インドネシア、アイルランド、マレーシア、メキシコ、モロッコ、ナイジェリア、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコ、ウガンダのオンラインサンプルは、一般人口に比べて、より都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。世界各国平均は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映しています。各国・各市場の人口規模に合わせたものではなく、総合的な結果を示唆するものでもない。

注：3%未満のデータレベルは表示されていない

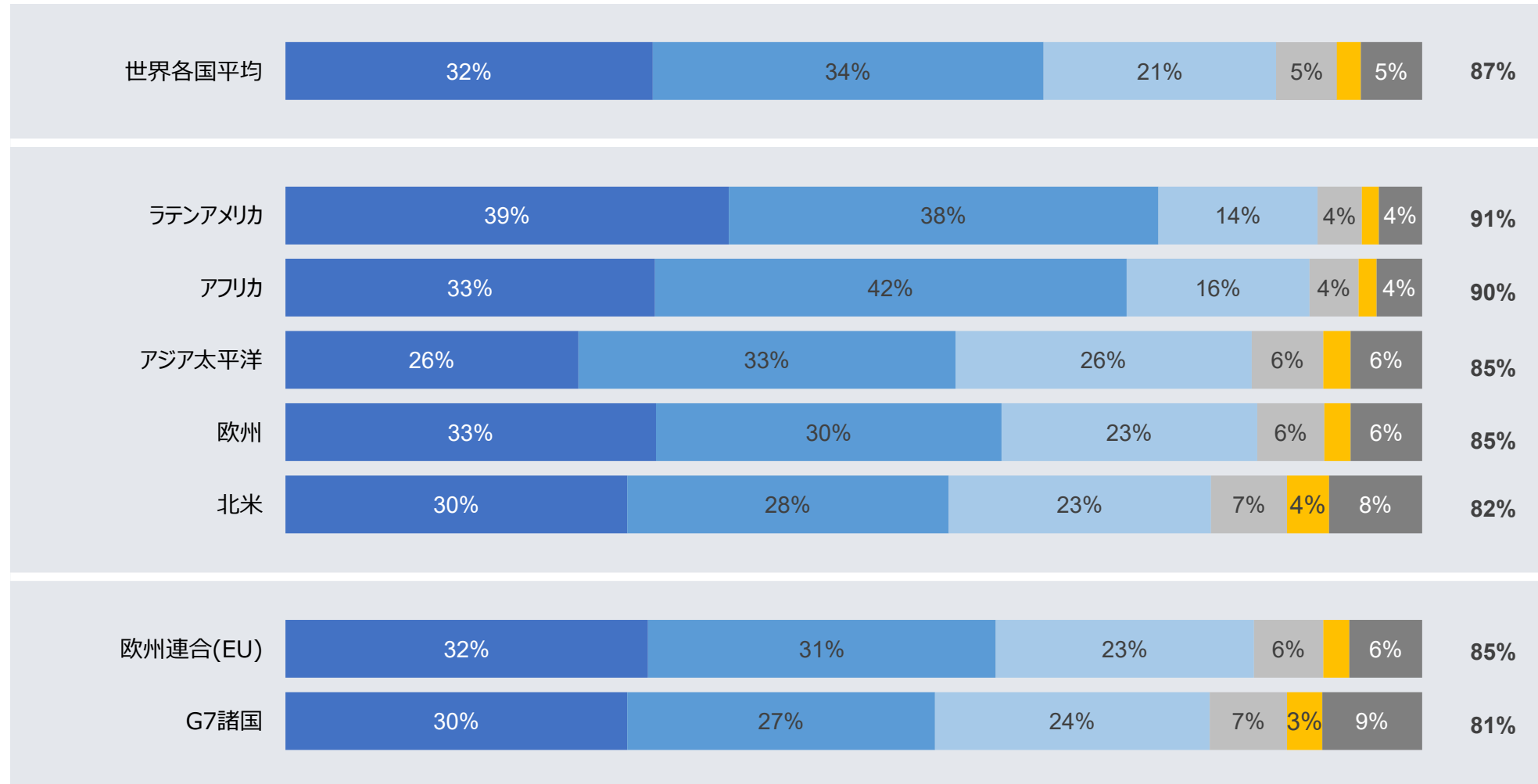


国際連合は2022年、プラスチック汚染を食い止めた国際条約を策定することで合意しました。  
以下の目的にグローバルな規則を持つことは、どの程度重要、または重要でないと思いますか？  
実際問題として、リサイクルが容易でないタイプのプラスチックを禁止する

必須、非常に/  
ある程度重要 合計

## 地域比較

ラテンアメリカでは、使用されているすべての国でリサイクルが容易でない種類のプラスチックを禁止する世界的なルールを最も重要視しており（91%）、次いで中東・アフリカ（90%）となっています。



- 必須
- 非常に重要
- ある程度重要
- あまり重要ではない
- まったく重要ではない
- わからない

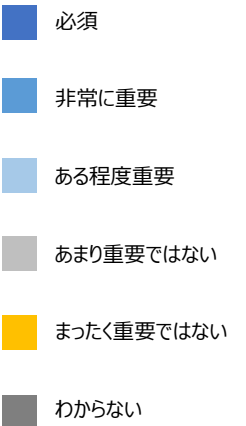
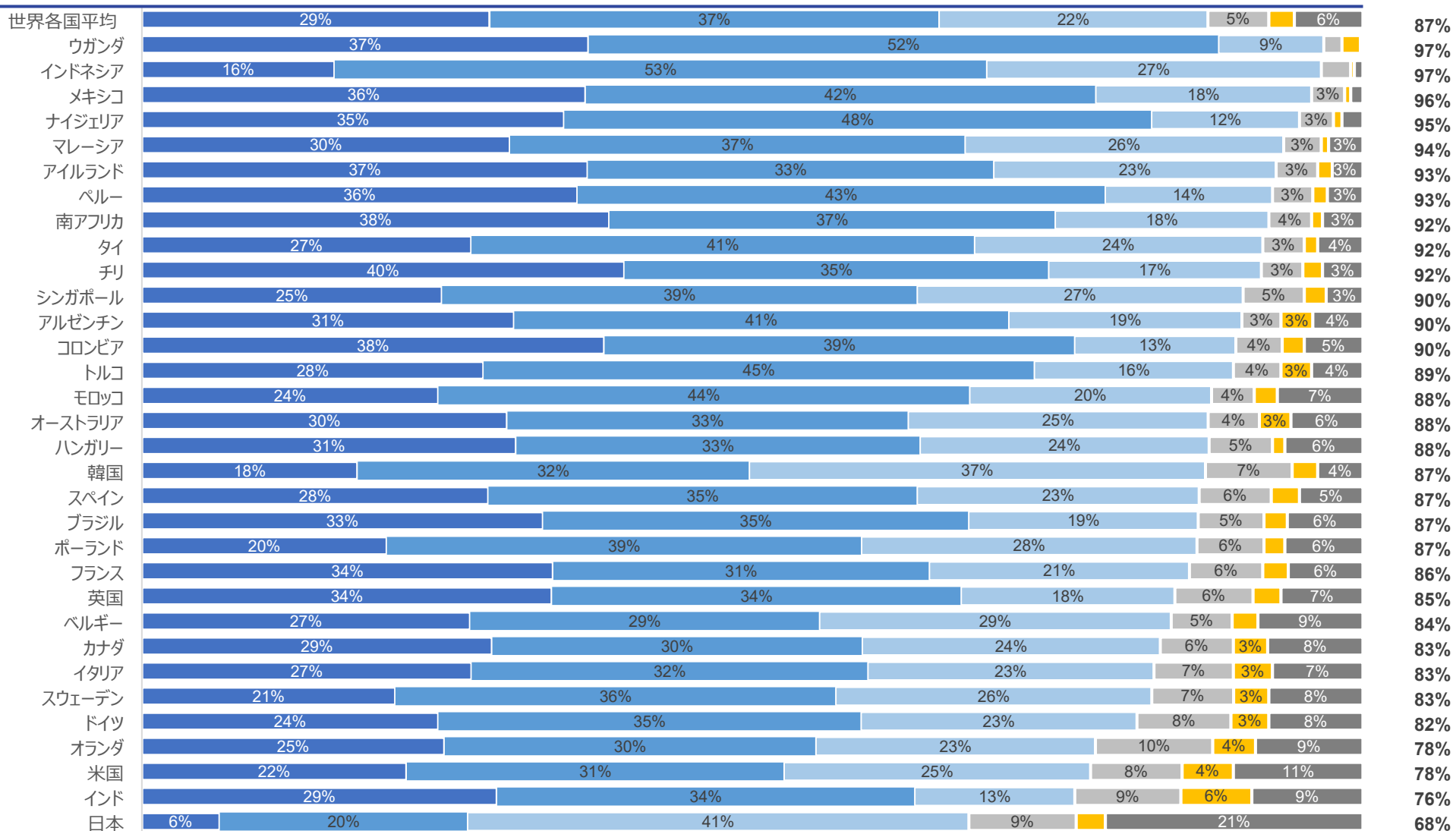
国際連合は2022年、プラスチック汚染を食い止めた国際条約を策定することで合意しました。  
以下の目的にグローバルな規則を持つことは、どの程度重要、または重要でないと思いますか？

## メーカーおよび小売業者が再利用および再充填のシステムを提供するよう求める

必須、非常に/  
ある程度重要 合計

### 国別比較

世界平均で87%の人々が、メーカーや小売業者が再利用・再充填システムを提供することを世界的なルールで義務づけることは重要である（必須+非常に重要+ある程度重要）と考えています。



出典：イプソスグローバルバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。  
ペーヌ：ブラジル、チリ、コロンビア、インドネシア、アイルランド、マレーシア、メキシコ、モロッコ、ナイジェリア、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコ、ウガンダのオンラインサンプルは、一般人口に比べて、より都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。世界各国平均は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映しています。各国・各市場の人口規模に合わせたものではなく、総合的な結果を示唆するものでもない。

注：3%未満のデータレベルは表示されていない



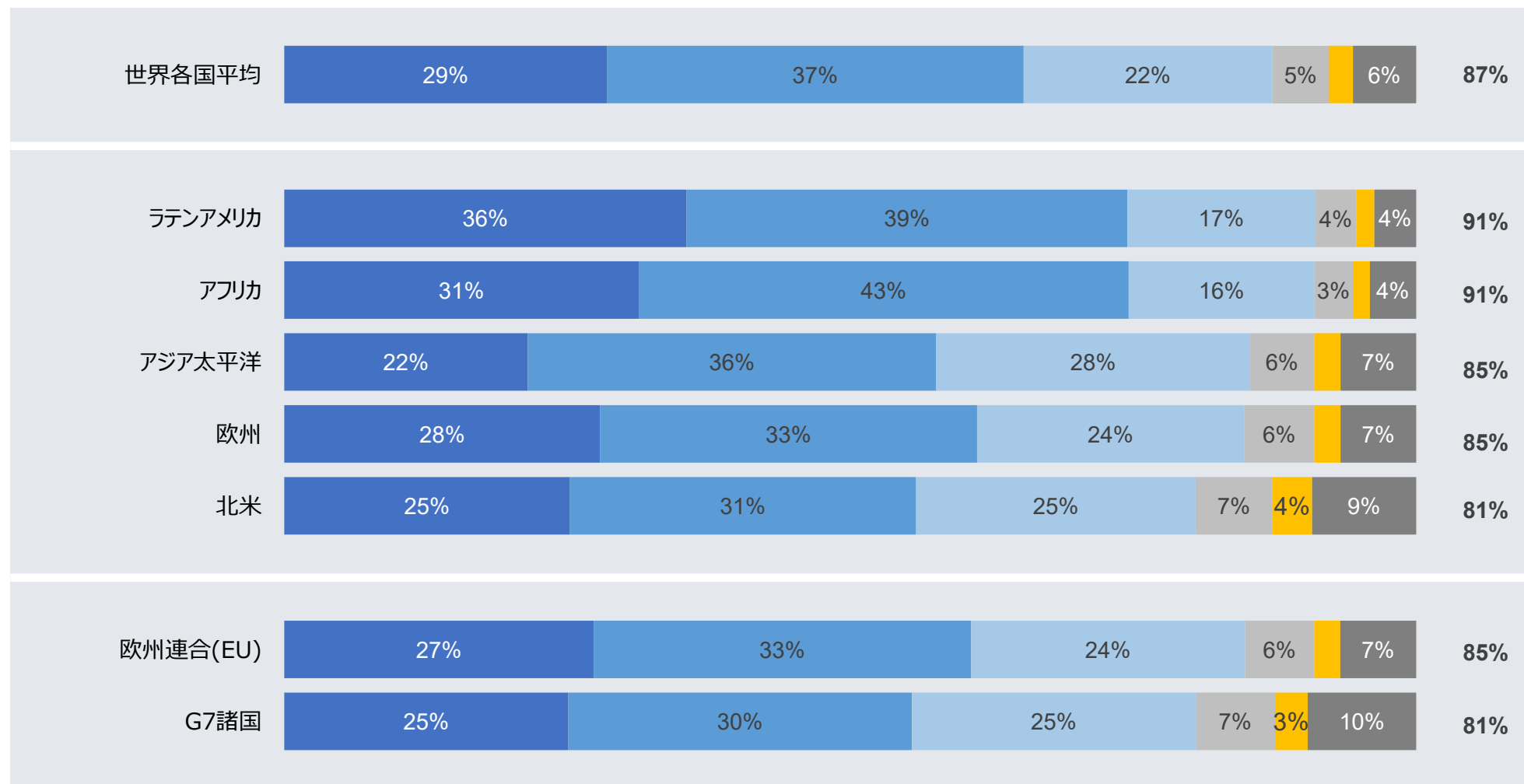
国際連合は2022年、プラスチック汚染を食い止めた国際条約を策定することで合意しました。  
以下の目的にグローバルな規則を持つことは、どの程度重要、または重要でないと思いますか？

## メーカーおよび小売業者が再利用および再充填のシステムを提供するよう求める

必須、非常に/  
ある程度重要 合計

### 地域比較

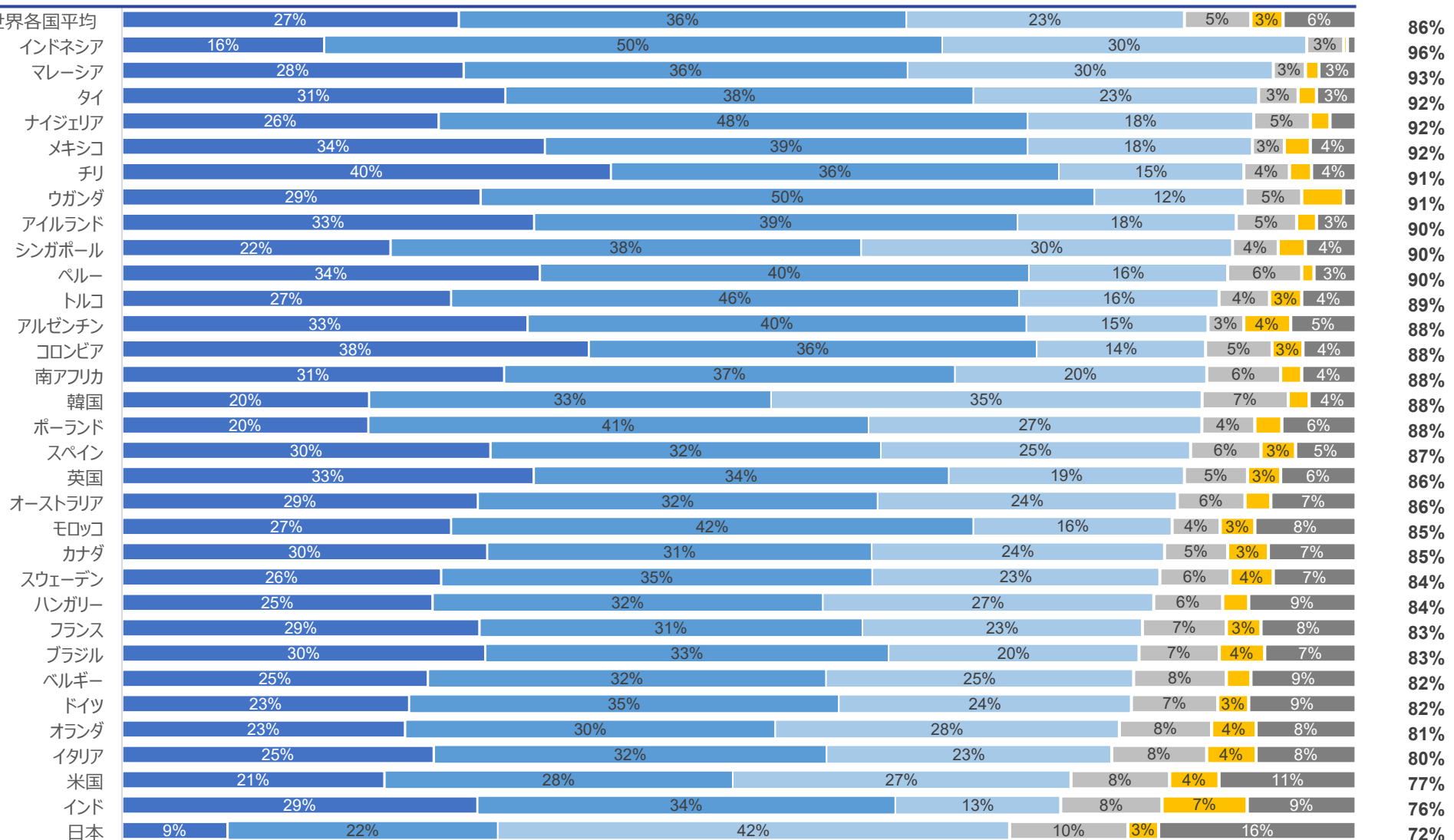
ラテンアメリカと中東・アフリカは、メーカーや小売業者に再利用・再充填システムの提供を義務付ける世界的な規則を最も重要視しており（91%が重要だと考えている）、次いでアジア太平洋（85%）となっています。



- 必須
- 非常に重要
- ある程度重要
- あまり重要ではない
- まったく重要ではない
- わからない

国際連合は2022年、プラスチック汚染を食い止めた国際条約を策定することで合意しました。  
以下の目的にグローバルな規則を持つことは、どの程度重要、または重要でないと思いますか？

## 新しいプラスチック製品とパッケージに、最低限のリサイクルプラスチックを使用するよう求める



必須、非常に／ある程度重要 合計

## 国別比較

世界平均86%の人々が、新しいプラスチック製品とパッケージに最低限のリサイクルプラスチックを使用することを義務づける世界的なルールは重要である（必須+非常に重要+ある程度重要）と考えています。

- 必須
- 非常に重要
- ある程度重要
- あまり重要ではない
- まったく重要ではない
- わからない

出典：イプソスグローバルバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。  
ペーシ：ブラジル、チリ、コロンビア、インドネシア、アイルランド、マレーシア、メキシコ、モロッコ、ナイジェリア、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコ、ウガンダのオンラインサンプルは、一般人口に比べて、より都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。世界各国平均は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映しています。各国・各市場の人口規模に合わせたものではなく、総合的な結果を示唆するものでもない。

注：3%未満のデータレベルは表示されていない



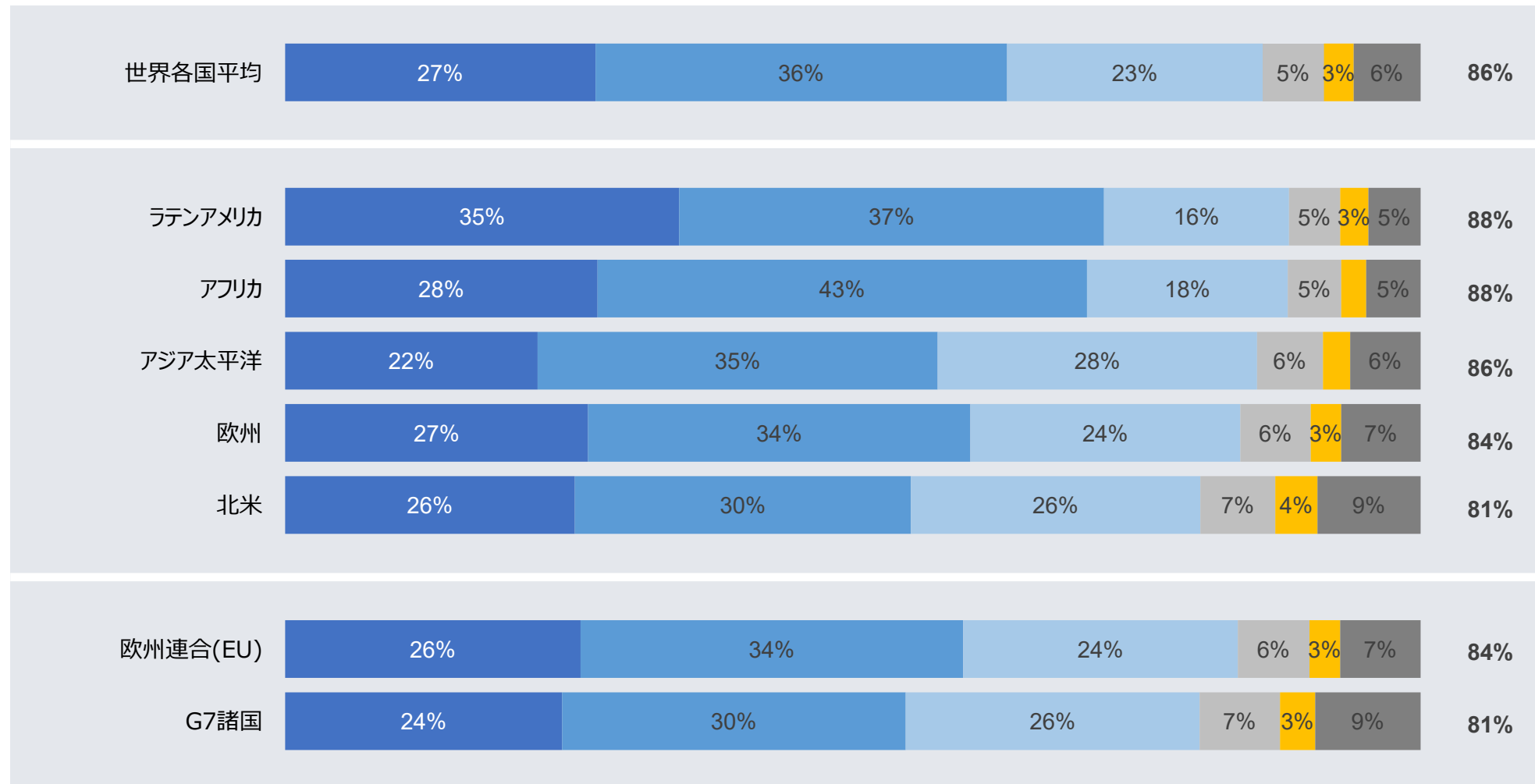
国際連合は2022年、プラスチック汚染を食い止めた国際条約を策定することで合意しました。  
以下の目的にグローバルな規則を持つことは、どの程度重要、または重要でないと思いますか？

## 新しいプラスチック製品とパッケージに、最低限のリサイクルプラスチックを使用するよう求める

必須、非常に/  
ある程度重要 合計

### 地域比較

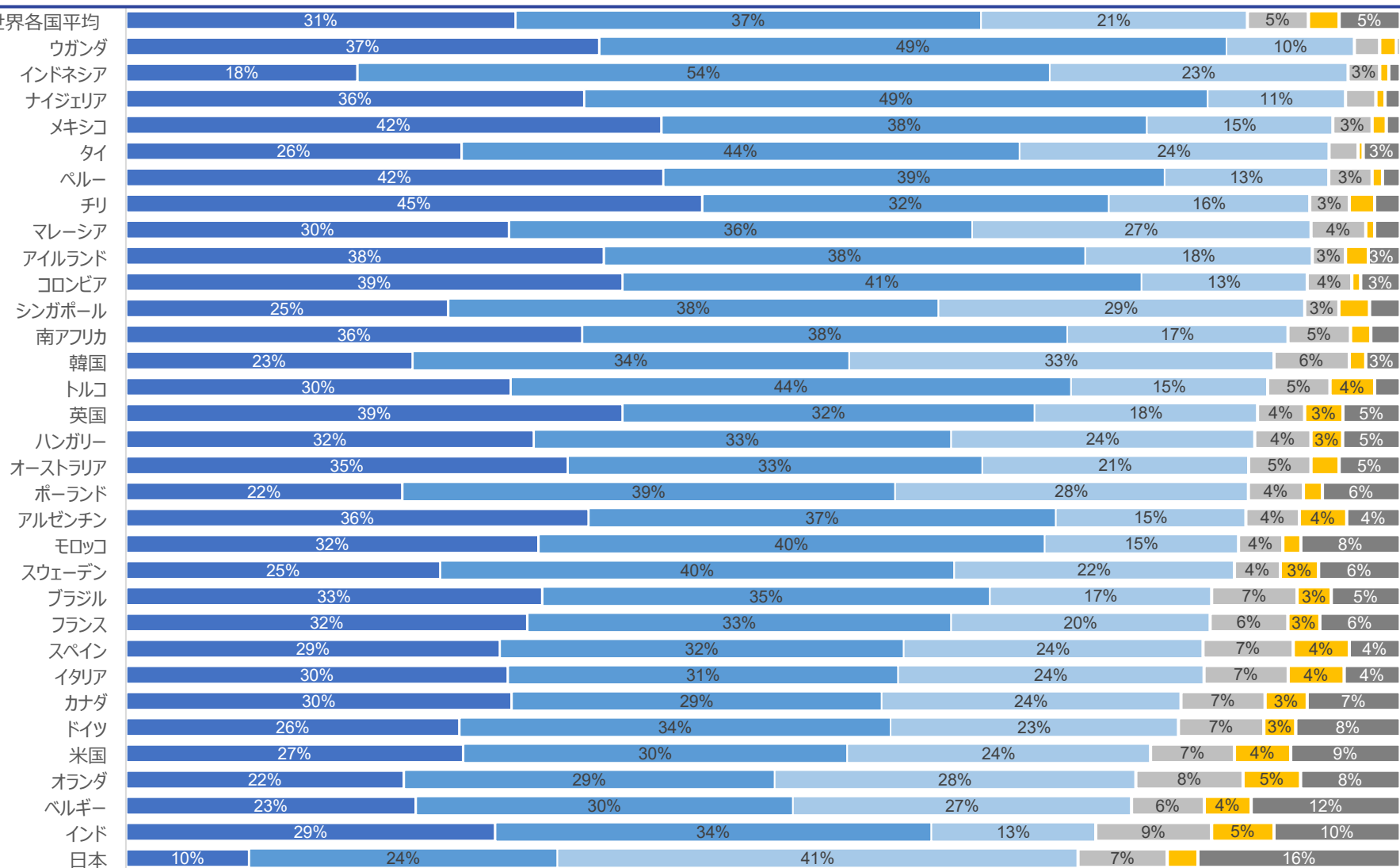
ラテンアメリカと中東・アフリカは、新しいプラスチック製品とパッケージに最低限のリサイクルプラスチックを使用することを義務付ける世界的な規則を最も重要視しており（88%が重要だと考えている）、次いでアジア太平洋（86%）となっています。



- 必須
- 非常に重要
- ある程度重要
- あまり重要ではない
- まったく重要ではない
- わからない

国際連合は2022年、プラスチック汚染を食い止めた国際条約を策定することで合意しました。  
以下の目的にグローバルな規則を持つことは、どの程度重要、または重要でないと思いますか？

## 化学薬品を含むプラスチック製品に、わかりやすいラベルを付け、責任をもって再利用、リサイクル、廃棄する方法を明確にするよう求める



必須、非常に／ある程度重要 合計

### 国別比較

世界平均88%の人々が、プラスチック製品に、わかりやすいラベルを付け、責任をもって再利用、リサイクル、廃棄する方法を明確にするよう求めることが世界的なルールとして重要である（必須+非常に重要+ある程度重要）と考えています。

- 必須
- 非常に重要
- ある程度重要
- あまり重要ではない
- まったく重要ではない
- わからない

出典：イプソスグローバルバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。  
ベース：ブラジル、チリ、コロンビア、インドネシア、アイルランド、マレーシア、メキシコ、モロッコ、ナイジェリア、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコ、ウガンダのオンラインサンプルは、一般人口に比べて、より都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。世界各国平均は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映しています。各国・各市場の人口規模に合わせたものではなく、総合的な結果を示唆するものでもない。

注：3%未満のデータラベルは表示されていない



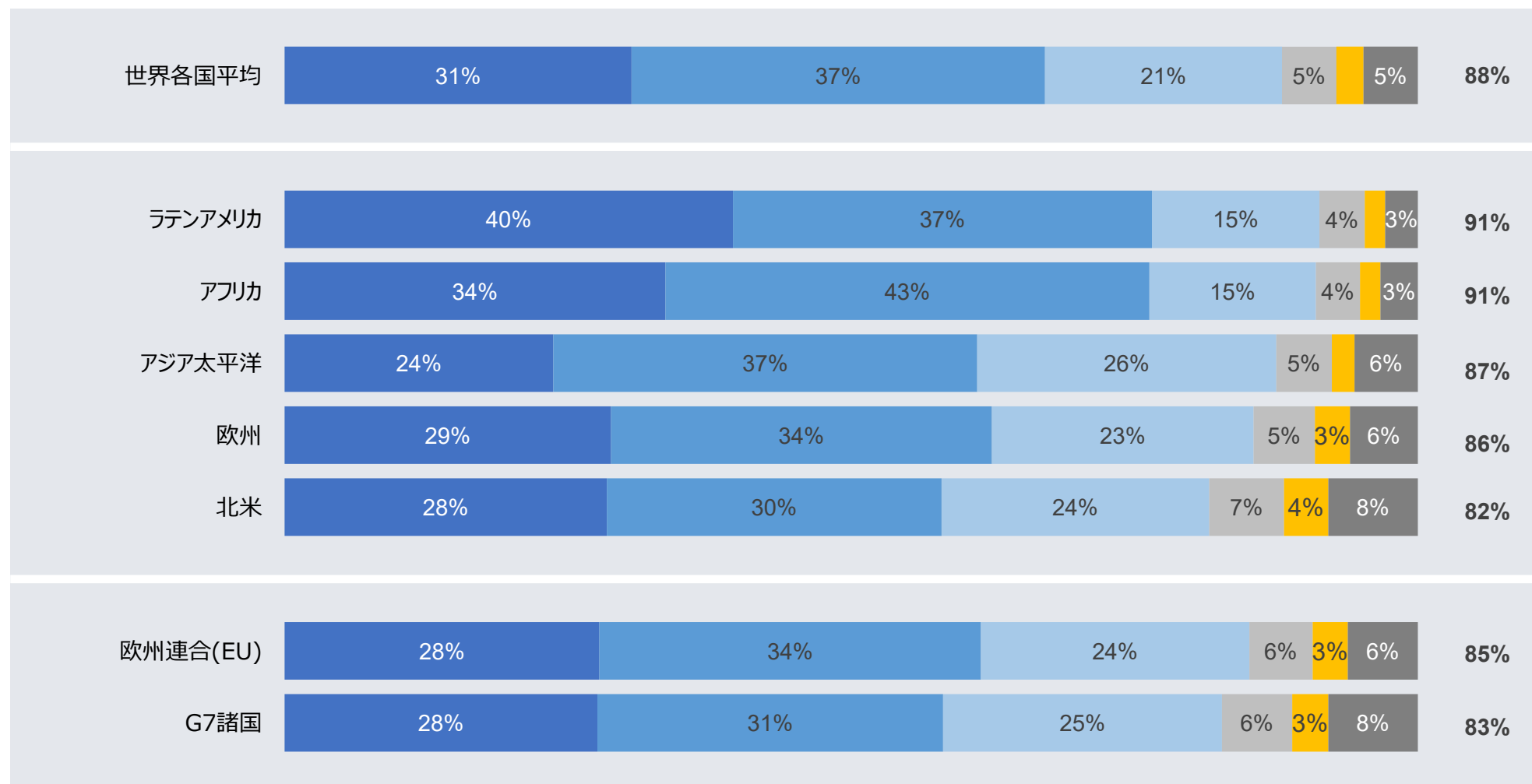
国際連合は2022年、プラスチック汚染を食い止めた国際条約を策定することで合意しました。  
以下の目的にグローバルな規則を持つことは、どの程度重要、または重要でないと思いますか？

## 化学薬品を含むプラスチック製品に、わかりやすいラベルを付け、責任をもって再利用、リサイクル、廃棄する方法を明確にするよう求める

必須、非常に/  
ある程度重要 合計

### 地域比較

ラテンアメリカと中東・アフリカは、プラスチック製品に、わかりやすいラベルを付け、責任をもって再利用、リサイクル、廃棄する方法を明確にするよう求める世界的なルールを最も重要視しており（91%が重要だと考えている）、次いでアジア太平洋（87%）となっています。



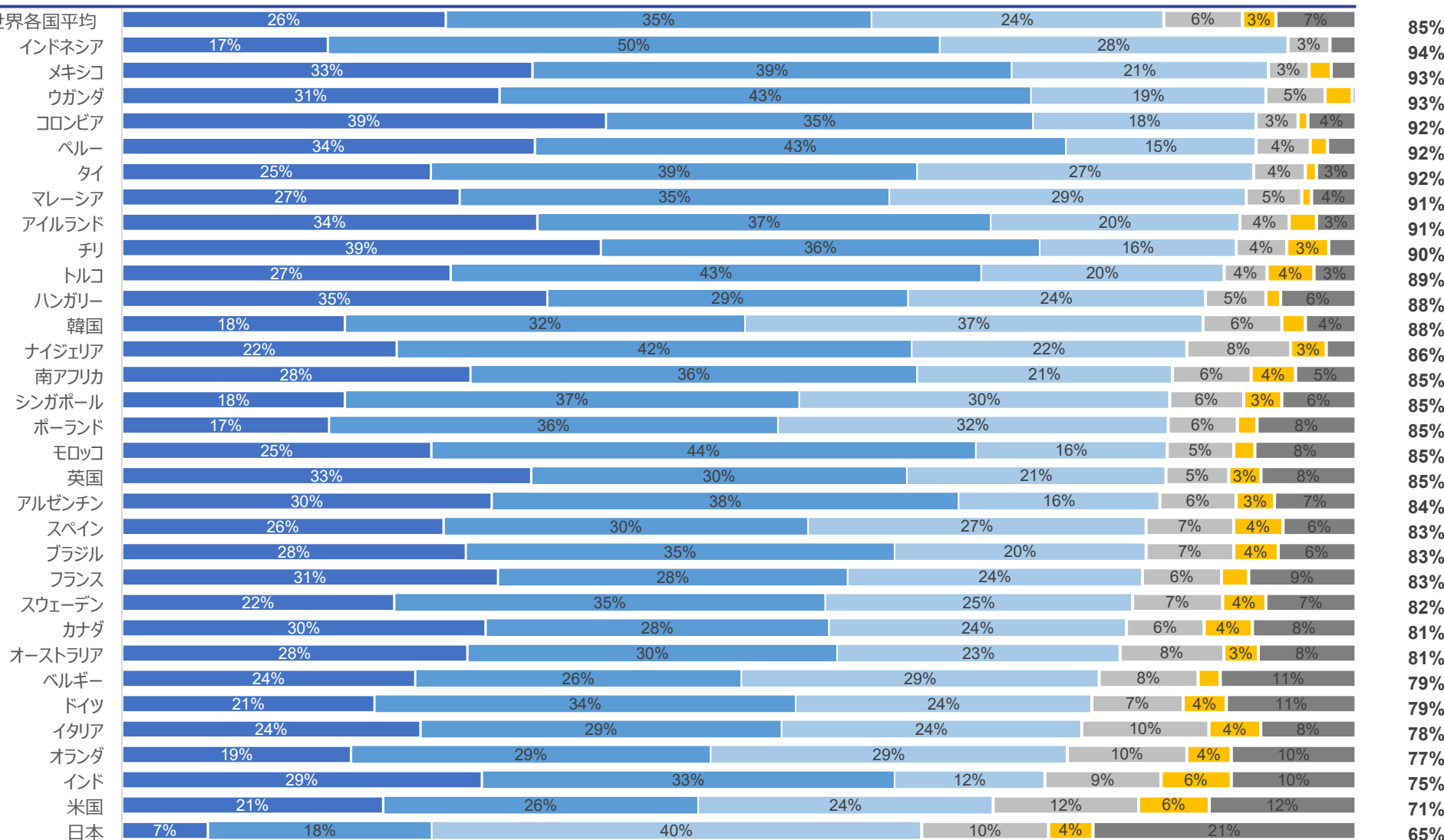
- 必須
- 非常に重要
- ある程度重要
- あまり重要ではない
- まったく重要ではない
- わからない

国際連合は2022年、プラスチック汚染を食い止めた国際条約を策定することで合意しました。  
以下の目的にグローバルな規則を持つことは、どの程度重要、または重要でないと思いますか？

## すべてのプラスチック製造業者に対し、プラスチック廃棄物の再利用、リサイクル、および安全管理にかかる費用を支払うことを求める

必須、非常に／  
ある程度重要 合計

### 国別比較



世界平均で84%の人々が、すべてのプラスチック製造業者に対し、プラスチック廃棄物の再利用、リサイクル、および安全管理にかかる費用を支払うよう世界的な規則で義務づけることは重要である（必須+非常に重要+ある程度重要）と考えています。

- 必須
- 非常に重要
- ある程度重要
- あまり重要ではない
- まったく重要ではない
- わからない

出典：イプソスグローバルバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。  
 ペース：ブラジル、チリ、コロンビア、インドネシア、アイルランド、マレーシア、メキシコ、モロッコ、ナイジェリア、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコ、ウガンダのオンラインサンプルは、一般人口に比べて、より都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。世界各国平均は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映しています。各国・各市場の人口規模に合わせたものではなく、総合的な結果を示唆するものでもない。

注：3%未満のデータレベルは表示されていない



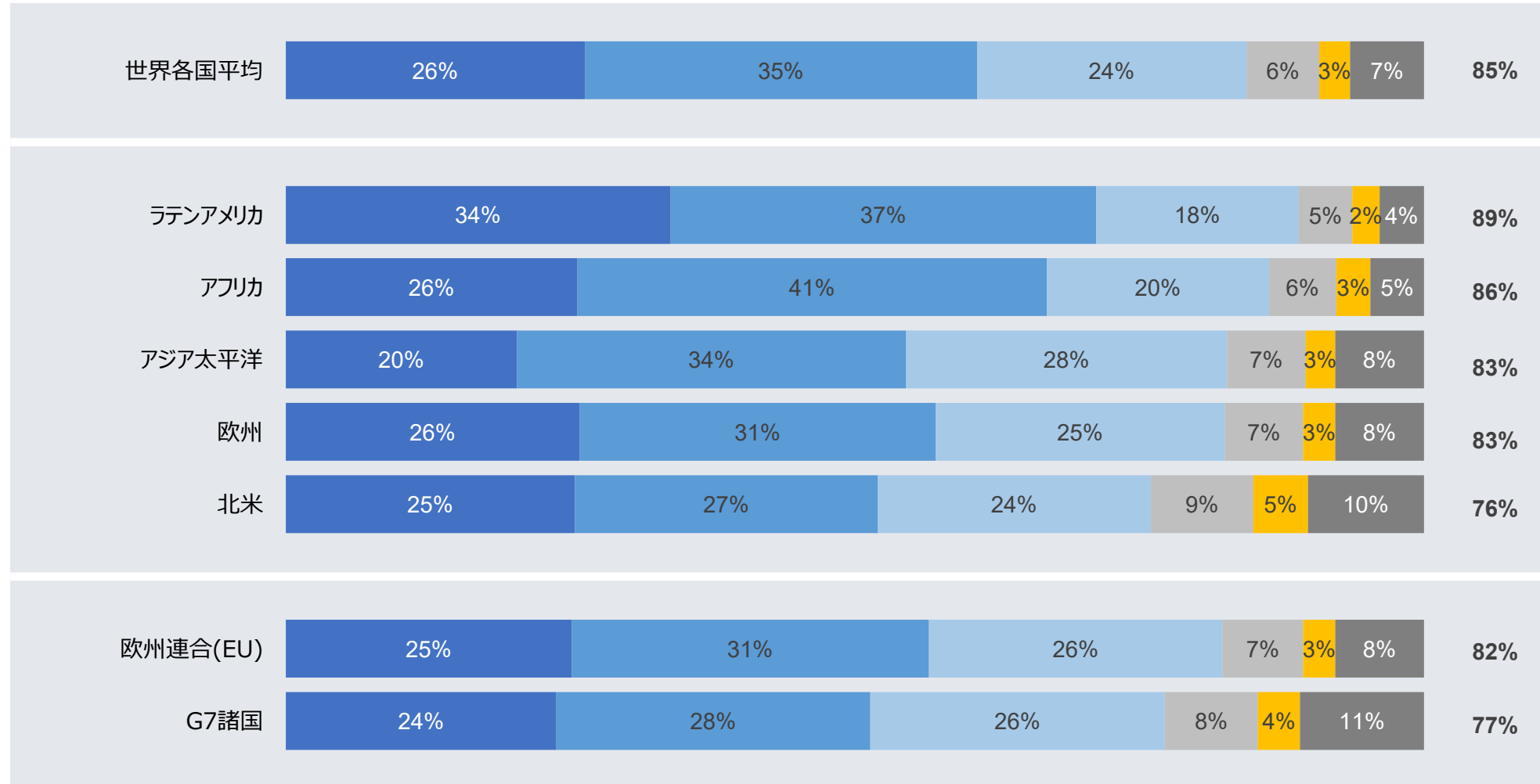
国際連合は2022年、プラスチック汚染を食い止めた国際条約を策定することで合意しました。  
以下の目的にグローバルな規則を持つことは、どの程度重要、または重要でないと思いますか？

## すべてのプラスチック製造業者に対し、プラスチック廃棄物の再利用、リサイクル、および安全管理にかかる費用を支払うことを求める

必須、非常に/  
ある程度重要 合計

### 地域比較

ラテンアメリカは、すべてのプラスチック製造業者に対し、プラスチック廃棄物の再利用、リサイクル、および安全管理にかかる費用を支払うことを義務づける世界的なルールを最も重要視しており（89%が重要だと考えている）、次いで中東・アフリカ（86%）となっています。



# 調査方法

この32カ国のグローバルアドバイザー調査は、2023年8月25日から9月8日にかけて29カ国<sup>1</sup>、9月22日から10月6日にかけて3カ国<sup>2</sup>において実施された。カナダ、アイルランド共和国、イスラエル、マレーシア、モロッコ、ナイジェリア、南アフリカ、トルコ、ウガンダ、米国の18～74歳、タイの20～74歳、インドネシアとシンガポールの21～74歳、その他の国の16～74歳の成人24,727人を対象に、イプソスオンラインパネルシステムとインドではIndiaBusを利用して実施した。

世界各国平均は、調査を実施したすべての国の平均値である。各国の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。

G7と呼ばれる地域は、カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、英国、米国、そしてEUで構成されている。サンプルは、オーストラリア、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、英国、イタリア、日本、マレーシア、ナイジェリア、南アフリカ、韓国、スペイン、米国の各1000人、アルゼンチン、ベルギー、チリ、コロンビア、ハンガリー、インドネシア、アイルランド、メキシコ、モロッコ、オランダ、ペルー、ポーランド、シンガポール、スウェーデン、タイ、トルコ、ウガンダの各500人である。インドのサンプルは約2,200人で、そのうち約1,800人が対面調査、約400人がオンライン調査を受けている。

アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、英国、ハンガリー、イタリア、日本、オランダ、ポーランド、韓国、スペイン、スウェーデン、米国のサンプルは、これらの国の75歳未満の一般成人人口を代表するものとみなすことができる。

ブラジル、チリ、コロンビア、インドネシア、アイルランド、マレーシア、メキシコ、モロッコ、ナイジェリア、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコ、ウガンダのサンプルは、一般人口に比べて、より都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。これらの市場の調査結果は、人口のうち、より「コネクテッド」な層の意見を反映していると言えるだろう。人口統計のバランスをとり、サンプルの構成比が最新の国勢調査データによる成人人口の構成比を反映するように、ウェイト付けが行われている。

イプソスのオンライン世論調査の精度は、1,000人の世論調査は±3.5%ポイント、500人の世論調査は±5.0%ポイントの信頼区間を用いて計算されている。イプソスの信頼区間使用に関する詳細は、イプソスのウェブサイトを参照のこと。

結果の合計が100にならない場合、または「差」が実際より+/-1多い/少ないように見える場合、これは四捨五入、複数回答、「わからない」または「未記入」の除外による可能性がある。

本調査結果の公表は、現地の規則に従う。

## 詳細はこちらまで：

Stuart Clark  
Director, Public Affairs  
Ipsos Australia  
Stuart.Clark@ipsos.com



# イプソスについて

イプソスは世界第3位の市場調査会社で、90の市場に展開し、18,000人以上を雇用しています。

当社のリサーチプロフェッショナル、アナリスト、科学者は、市民、消費者、患者、顧客、または従業員の行動、意見、動機に関する強力な洞察を提供する独自のマルチスペシャリスト能力を構築しています。当社の75のビジネスソリューションは、調査、ソーシャルメディアモニタリング、定性的または観察的手法から得られる一次データに基づいています。

私たちのタグラインである『**Game Changers**』は、深く変化しているこの世界を、クライアントのみなさまがより容易に航行できるようお手伝いしたいという私たちの野心を要約したものです。

1975年にフランスで設立されたイプソスは、1999年7月1日からユーロネクスト・パリに上場しております。当社はSBF120およびMid-60インデックスに属しており、Deferred Settlement Service (SRD) の対象です。

ISIN code FR0000073298, Reuters ISOS.PA, Bloomberg IPS:FP [www.ipsos.com](http://www.ipsos.com)

# GAME CHANGERS

変化の激しいこの世界では、確信に満ちた決断を下すために信頼できる情報がますます必要となっています。

イプソスでは、クライアントのみなさまが必要としているのはデータサプライヤー以上のものであり、正確で関連性の高い情報を作成し、実行可能な真実へと変えることのできるパートナーであると考えています。

だからこそ、私たちの好奇心旺盛な専門家たちは、最も正確な測定を提供するだけでなく、それを形にして、社会、国家、そして人々に対する真の理解を提供しています。

これを実現するために、私たちは科学、技術、ノウハウの粋を集め、安全性、簡素性、迅速性、実質性の原則をすべての行動に適用しています。

クライアントのみなさまがより速く、より賢く、より大胆に行動できるように。結局のところ、成功はこの単純な真実に帰結します。

**You act better when you are sure.**

**確信があれば、より良い行動ができる。**